

バンクオブアメリカ・メリルリンチ 2017 ジャパン・コンファレンス

LEAD THE VALUE

# SMFGの経営戦略

2017年9月7日

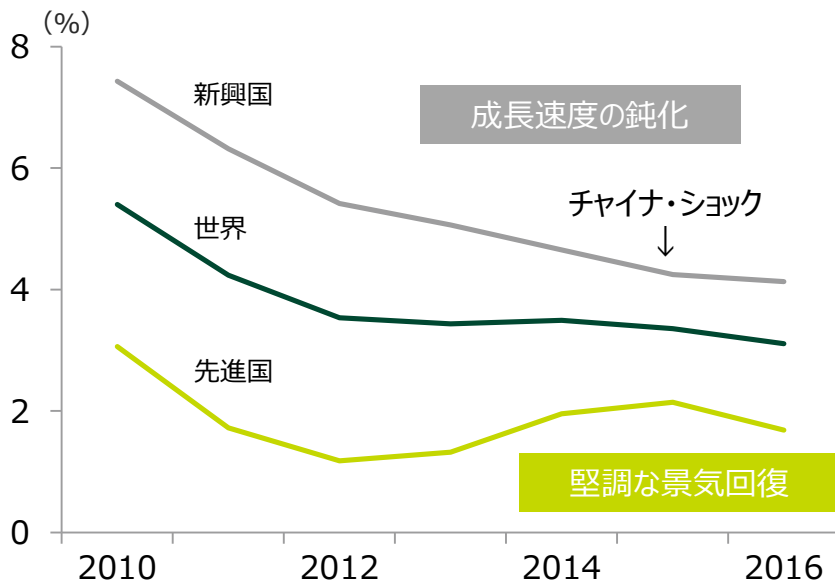
株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

執行役社長 グループCEO 國部 毅

- Ⅰ 事業環境とSMFGの中期経営計画（2017～2019年度）**
- Ⅱ 2017年度第1四半期実績**
- Ⅲ これまでの成果 - Discipline、Focus、Integration**
- Ⅳ 資本政策**

## 事業環境

## 実質GDP成長率



## 厳しい収益環境

- ・ 国際金融規制の強化
- ・ 保護主義の台頭
- ・ 地政学リスクの高まり
- ・ 国内マイナス金利
- ・ 外貨調達コストの増加

## ビジネスチャンス

- ・ 貯蓄から資産形成へ、  
相続・事業承継ニーズ
- ・ 低金利下の運用ニーズ
- ・ 国内外大企業の業界再編、  
グローバル展開の加速
- ・ 成長企業・産業の出現
- ・ アジア中間層の拡大

- ・ コーポレートガバナンス強化
- ・ デジタル化の進展

## SMFGの取組み

前中期経営計画  
(2014年度～16年度)

- トップライン収益成長
- 将来の成長に向けた先行投資
- 国内外でのビジネスモデル改革
- 経営・組織・人事の  
グローバル化、グループ間連携

2015年度半ばより、環境変化を  
踏まえ、ボトムライン重視に転換

新中期経営計画  
(2017年度～19年度)

SMFG Next Stage

- 1 Discipline**  
ディシプリンを重視した事業展開
- 2 Focus**  
強みにフォーカスした成長戦略
- 3 Integration**  
持続的成長を支えるグループ・  
グローバルベースの運営高度化

2019年度想定

|           |        |       |         |
|-----------|--------|-------|---------|
| (日本) 短期金利 | ▲0.10% | 円／米ドル | 110.00円 |
| (米国) FF金利 | 2.25%  | 円／ユーロ | 115.00円 |

## 中長期ビジョン

最高の信頼を通じて、  
日本・アジアをリードし、  
お客さまと共に成長する  
グローバル金融グループ

# 中期経営計画（2017年度～19年度）の概要



新体制の下、グループ総合力の結集と  
構造改革の推進により、持続的成長を実現

## 基本方針

1

### Discipline

ディシプリンを重視した事業展開

2

### Focus

強みにフォーカスした成長戦略

3

### Integration

持続的成長を支える  
グループ・グローバルベースの運営高度化

## 2019年度財務目標

### 環境認識

- 厳しい収益環境が継続
- 国際金融規制強化
- 新たなトレンドによるビジネスチャンス

### 重視する考え方

- 資本・資産・経費効率の向上  
ー 収益性の向上
- 健全なリスクテイクと  
クレジットコストコントロール
- 健全性確保、株主還元強化、  
成長投資をバランスよく実現

### 資本効率

### ROE

7～8%程度

資本蓄積を進める中で  
少なくとも7%を確保

### 経費効率

### 経費率

2016年度比  
△1%程度低下

早期に60%程度へ  
(2016年度62.1%)

### 健全性

### 普通株式等 Tier1比率\*1,2

10%程度

規制強化\*1に対応した  
資本水準を早期に確保  
(2016年度8.3%)

\*1 国際金融規制強化の最終的な影響として、2020年度にリスクアセットが現状比+25%程度増加する前提で、最終化時ベースの目標を設定

\*2 普通株式等Tier1からその他有価証券評価差額金、リスクアセットから株式評価益見合い分を控除

## 株主還元方針

配当は累進的とし、配当性向は40%を目指す

2017年度の1株当たり配当は、10円増配の160円とする

自己株取得は、国際金融規制の明確化後に方針決定

## 2017年度第1四半期実績

## ● 第1四半期は順調に進捗

## P/L

| (億円) |               | 17年度<br>4-6月      | 前年<br>同期比       | 上期目標   | 17年度<br>目標 |
|------|---------------|-------------------|-----------------|--------|------------|
| 連結   | 連結粗利益         | 7,374             | +217            |        |            |
|      | 営業経費<br>(経費率) | ▲4,539<br>(61.6%) | ▲107<br>(△0.3%) |        |            |
|      | 持分法投資損益       | 進捗率 196           | +128            |        |            |
|      | 連結業務純益*1      | 27% 3,032         | +237            | 5,500  | 11,300     |
|      | 与信関係費用        | ▲148              | ▲41             | ▲1,100 | ▲2,100     |
|      | 株式等損益         | 290               | +274            |        |            |
|      | その他           | ▲12               | ▲48             |        |            |
|      | 経常利益          | 3,162             | +422            | 4,600  | 9,700      |
|      | 親会社株主純利益      | 38% 2,415         | +572            | 3,100  | 6,300      |
| 単体   | 業務粗利益         | 3,571             | ▲123            |        |            |
|      | 経費*2          | ▲2,057            | ▲12             |        |            |
|      | 業務純益*1        | 1,513             | ▲135            | 2,800  | 6,000      |
|      | 与信関係費用        | △146              | ▲39             | ▲450   | ▲800       |
|      | 株式等損益         | 277               | +276            |        |            |
|      | 経常利益          | 1,880             | +394            | 2,400  | 5,500      |
|      | 当期純利益         | 1,684             | +615            | 2,000  | 4,300      |

## 連結粗利益：

SMBCにおける株式インデックス投信の評価益実現や、SMBC日興における株式委託手数料・投信募集手数料の好調等から増益

営業経費：SMAM連結子会社化（16年7月）の影響等から増加

持分法投資損益：東亜銀行における子会社売却益計上により増加

## SMBC以外の主要グループ会社の親会社株主純利益寄与\*3

| (億円)     | 17年度<br>4-6月 | 前年<br>同期比 |
|----------|--------------|-----------|
| SMBC日興*4 | 140          | +30       |
| SMBCCF   | 140          | +0        |
| SMFL     | 90           | +10       |
| セディナ     | 60           | ▲20       |
| SMCC     | 30           | +0        |
| SMBCフレンド | 10           | +0        |
| SMAM     | 10           | +0        |
| SMBC信託   | ▲30          | +20       |

## ● 政策保有株式の削減（簿価）

- 2017年4-6月の削減実績：約250億円
- 2017年6月末の未売却の売却応諾残高：約1,100億円

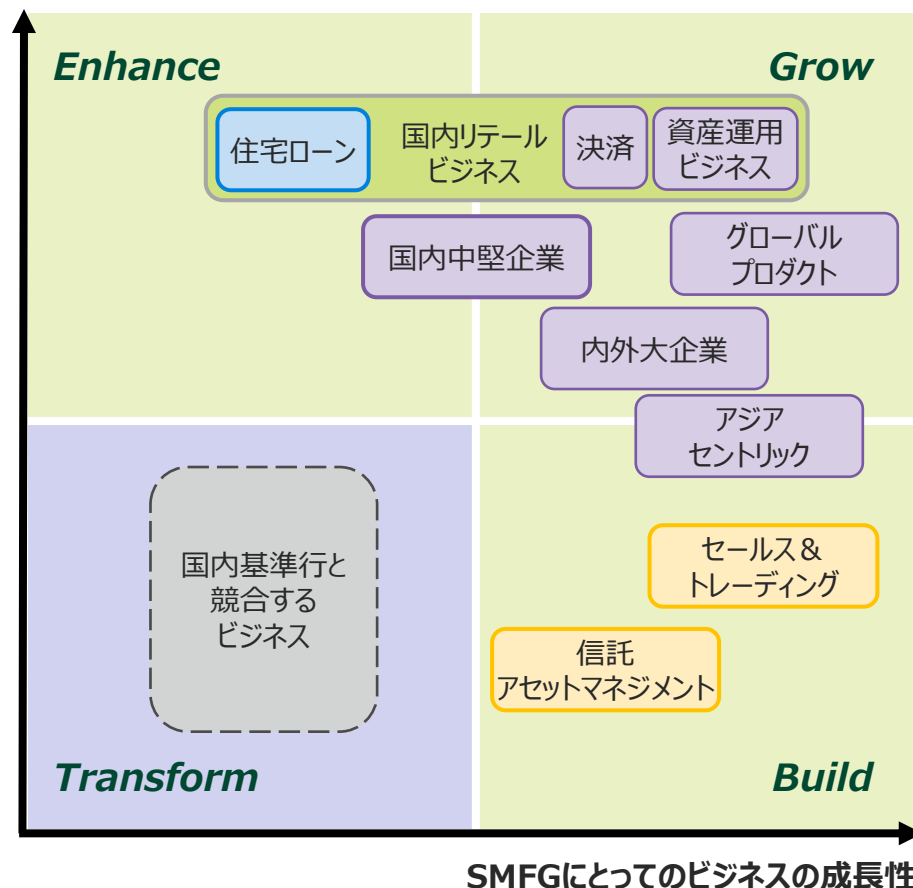
\*1 一般貸倒引当金繰入前 \*2 臨時処理分を除く \*3 概数 \*4 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含まない

# 事業・アセットポートフォリオ・収益構造の質の転換

- 優先的に資源投入するビジネスを選別し、資本効率の良い収益構造へ転換
- 安定的な収益基盤である国内リテール・ホールセールビジネスにおける競争優位性を維持

## 事業ポートフォリオの転換

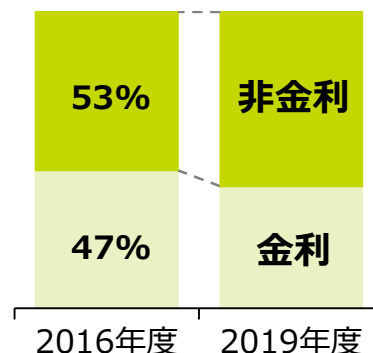
SMFGの競争優位性



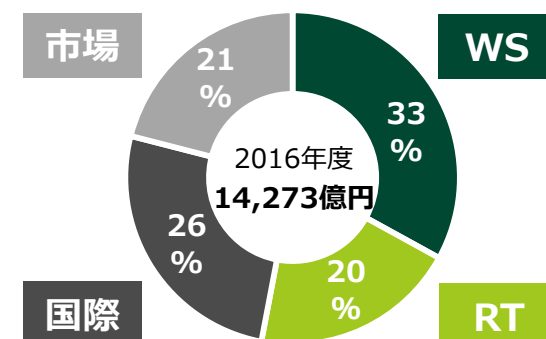
## グループ運営の見直し

- 1 関西アーバン銀行、みなと銀行の持分法適用会社化
  - 2 SMCC、セディナの業務面での一体運営
  - 3 ジャパンネット銀行のヤフーによる連結子会社化
  - 4 ポケットカードの資本構成変更（伊藤忠商事、ファミリーマートの持分引上げ）
- 外部パートナーの  
リソース投入による  
企業価値向上

## 金利・非金利収益比率 (連結粗利益)



## 事業部門別 連結業務純益構成比



7つの戦略事業領域へのフォーカス

コンセプト

戦略事業領域

**Enhance**

国内事業の基盤強化

1

本邦No.1のリテール金融ビジネスの実現

2

本邦中堅企業マーケットにおける優位性拡大

3

内外大企業ビジネスにおけるプレゼンス拡大

**Grow**

欧米事業の持続的成長

4

グローバル・プロダクトにおけるトップティア・プレゼンスの確立

アジアを第二の  
マザーマーケットに

5

アジア・セントラルクの進化

**Build**

将来の成長に向けた  
新たな強みの構築

6

セールス&トレーディング業務の収益力強化

7

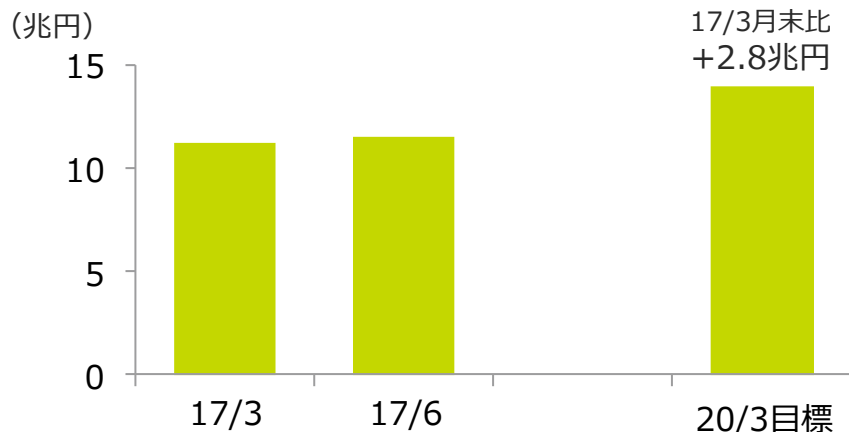
SMFG独自の付加価値の高い信託・  
アセットマネジメントビジネスの構築

デ  
ジ  
タ  
ラ  
イ  
ゼ  
ー  
シ  
ヨ  
ン

## リテールビジネス

- リテールビジネスにおける銀証一体での資産管理型運用ビジネス推進により、ストック収益資産残高は拡大

### ストック収益資産残高（SMBC+SMBC日興）

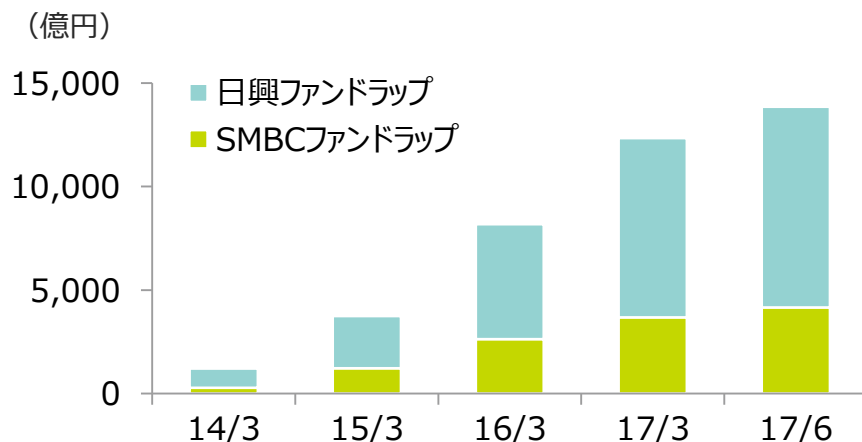


- ▶ 日本初のプロテクトラインを設けた投資信託  
「SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド」を17/7月に取扱開始  
純資産総額：875億円（2017年8月31日時点）

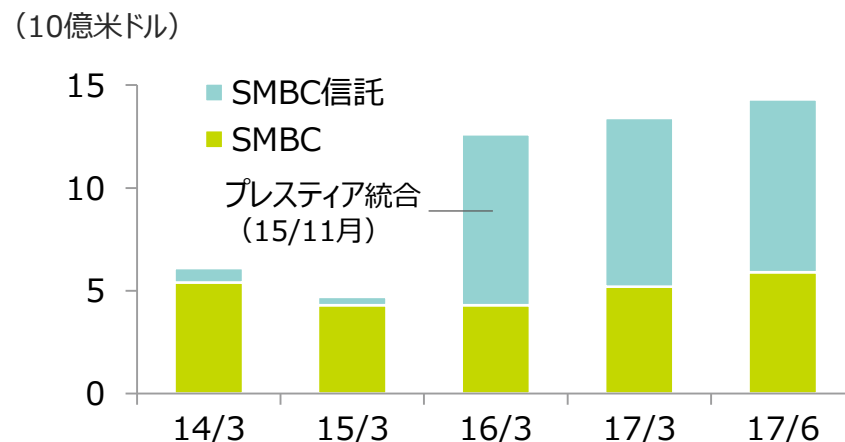
### 資産導入（SMBC日興）



### ファンドラップ残高（SMBC+SMBC日興）



### 外貨預金残高（SMBC（個人）+SMBC信託）\*



\* 各期末実績レートにて換算

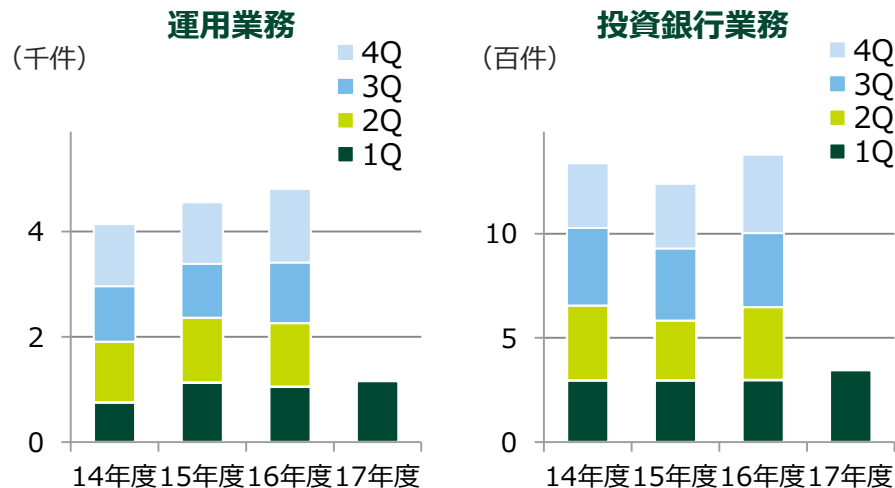


## ホールセールビジネス、海外ビジネス

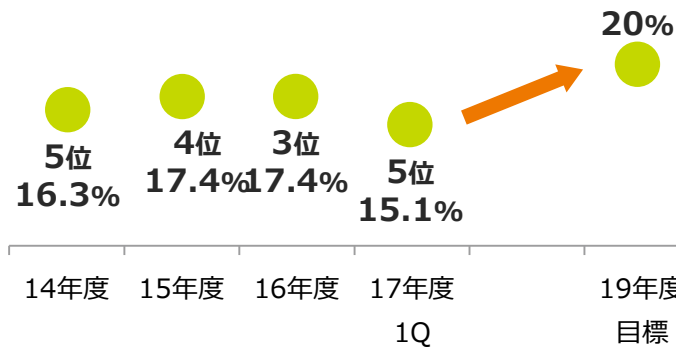
- ホールセールビジネスでは、銀証連携をはじめとする取引複合化を推進
- 海外ビジネスでは、強みのあるプロダクトを増強

### ホールセールビジネス

#### 銀証連携

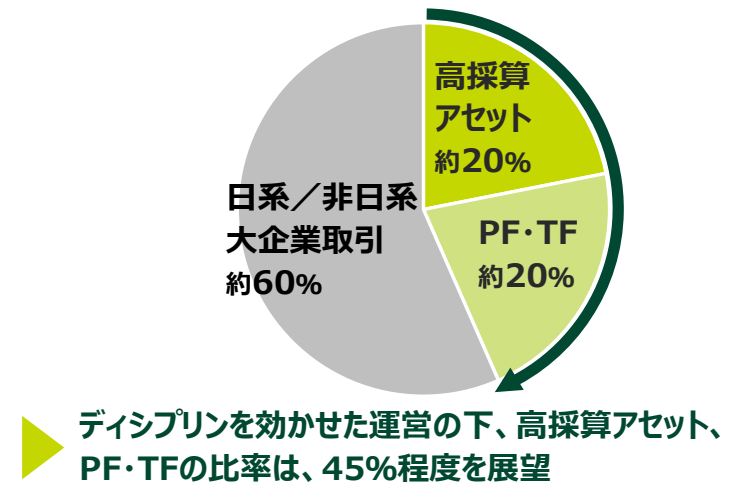


#### 国内事業債（主幹事、引受金額シェア）



### 海外ビジネス

#### 海外ビジネスのポートフォリオ構成（17/6月）



#### 高採算アセット

- 航空機リース・ファイナンス  
12/6月 SMBC AC 買収\*1
- 北米貨車リース  
13/12月 SMBC RS 買収\*2  
17/6月 ARL 買収
- LBOファイナンス  
15/9月 GEグループより欧州の貸出資産等を取得
- サブスクリプションファイナンス 等

#### American Railcar Leasing (ARL) の買収

→p.48



\*1 RBSグループより航空機リース事業（現 SMBC Aviation Capital）を買収 \*2 米貨車リース会社Flagship Rail Services（現 SMBC Rail Services）を買収

## デジタライゼーション

- 「お客さまの利便性向上」、「新規ビジネスの創造」、「生産性・効率性の向上」、「経営インフラの高度化」の実現に向け、デジタライゼーションを推進

### 生体認証仲介プラットフォーム（17/7月事業開始）



改正銀行法 認可第一号案件



3つの認証方法

さまざまな  
スマホアプリ  
に共通で  
使える

ユーザー  
提供者

: サービス毎のID管理不要  
: 自前の認証機能不要

### ヤフーとの包括的な業務提携（17/8月）

- SMFGとヤフーが有するノウハウやリソースを活用し、JVを通じて両グループのお客さまに付加価値の高い金融サービスを提供

JV

- アプリやサービスの企画・開発
- データ分析
- デジタルマーケティング

### パブリッククラウド・AIを活用した働き方改革（17/6月）

- マイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービスの利用開始

### リテール店舗改革



ペーパーレス  
窓口

### オープンイノベーション拠点開設

- 「hoops link tokyo」を渋谷に開設（17/9月）



## 生産性の向上・効率化の推進

- デジタル化等を通じて、生産性の向上・効率化を推進
- 中期的にコスト削減効果1,000億円の実現を目指す

### 主要施策

#### 業務改革による効率性向上

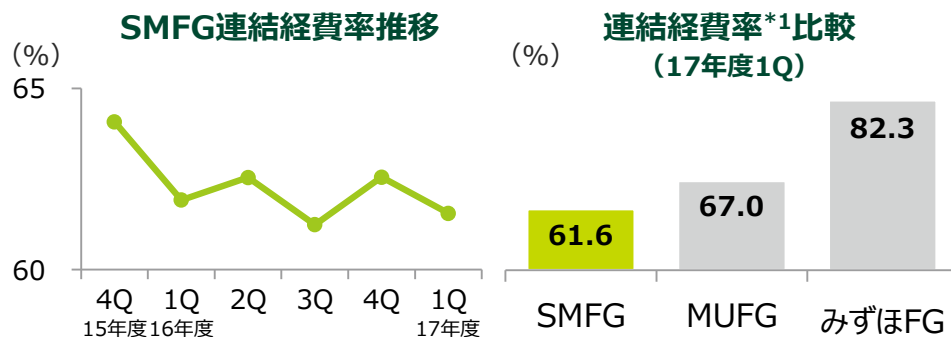
- テクノロジー活用による本社部門の業務プロセス効率化
- グループ各社の本社機能の集約化・インフラ共有化

#### リテール店舗改革

- セルフ・リモート化や事務プロセス高度化
- 店舗見直し等を通じた生産性向上・効率化

#### グループ内事業再編

- SMBC日興とSMBCフレンドの統合
- SMCCとセディナの業務面での一体運営強化  
(役割分担明確化・経営資源相互活用)



### 年間コスト削減効果

中期経営計画3カ年：△500億円～

△200億円 グループベースでの  
生産性向上

△200億円 リテール店舗改革

△100億円 証券統合による  
共通機能集約

中期的に  
△1,000  
億円

### 人員のスリム化効果

△4,000名\*2 生産性・効率化効果  
(うち基幹職 △2,000名)

▶ 人員再配置・強化 (戦略事業領域、海外等)

\*1 決算短信上の営業経費÷連結粗利益

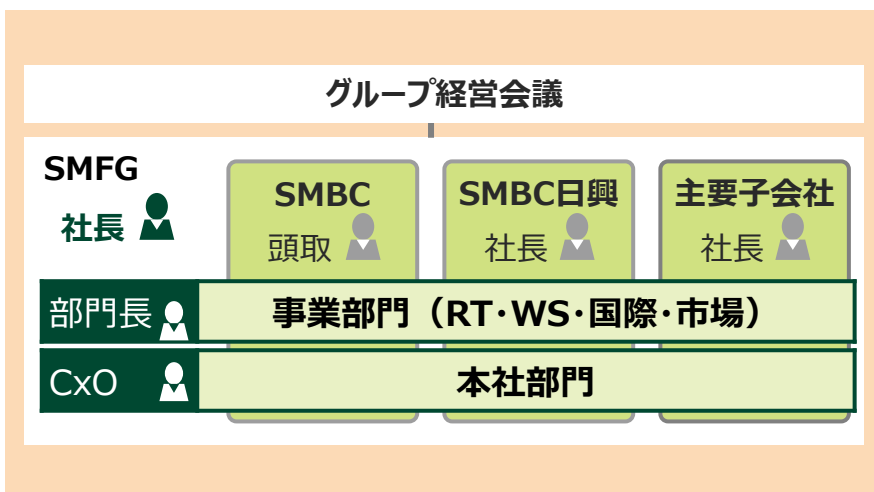
\*2 基幹職は3カ年ベース。それ以外は2020年度までの4カ年ベース

## ビジネスポテンシャルを最大化する運営、ガバナンス態勢高度化

- 事業部門制・CxO制の導入により、グループ・グローバルベースのビジネスポテンシャルを最大化
- 指名委員会等設置会社への移行によるガバナンス態勢高度化
- 役員報酬制度につき、業績との連動性強化、従来以上に株主目線を意識した制度へ見直し

### 新たなグループ経営体制

#### 事業部門制・CxO制の導入



- 狙い**
- お客さま対応力の強化
  - 全体最適な資源投入
  - 企画・管理機能の高度化

### 新たなガバナンス態勢・役員報酬制度見直し

#### 指名委員会等設置会社への移行

- 狙い**
- G-SIFIsスタンダードのガバナンス態勢構築
  - 取締役会の監督機能の強化
  - 業務執行の迅速化

#### 社外取締役

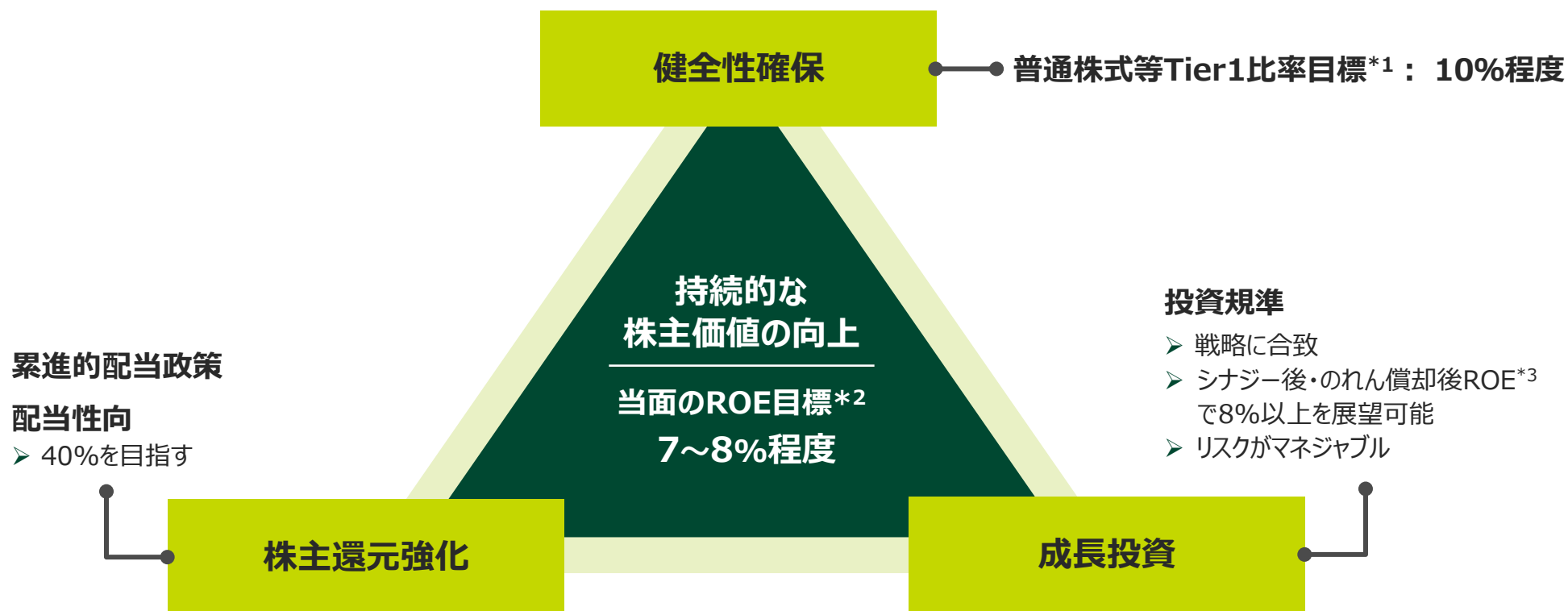
- 社外取締役の人数を5名から7名へ増加  
(全取締役に占める割合は36%から41%へ上昇)
- 社外取締役と投資家とのスモールミーティングを開催

#### 譲渡制限付株式による株式報酬制度の導入

- 中期経営計画の財務目標及び株式指標を  
評価指標とする株式報酬制度  
総報酬に占める業績連動比率は40%程度を目安に
- 株式報酬比率の引上げ  
株式報酬比率は25%程度を目安に
- 賞与の一部繰延、支払済報酬の減額・返還制度の  
導入を通じたリスクマネジメント強化

## 資本政策の基本方針

- 健全性確保、株主還元強化、成長投資をバランスよく実現
- 配当は累進的とし、配当性向は40%を目指す
- 自己株取得は、国際金融規制の明確化後に方針決定 ※資本の状況、業績見通し、株価水準、成長投資機会を考慮



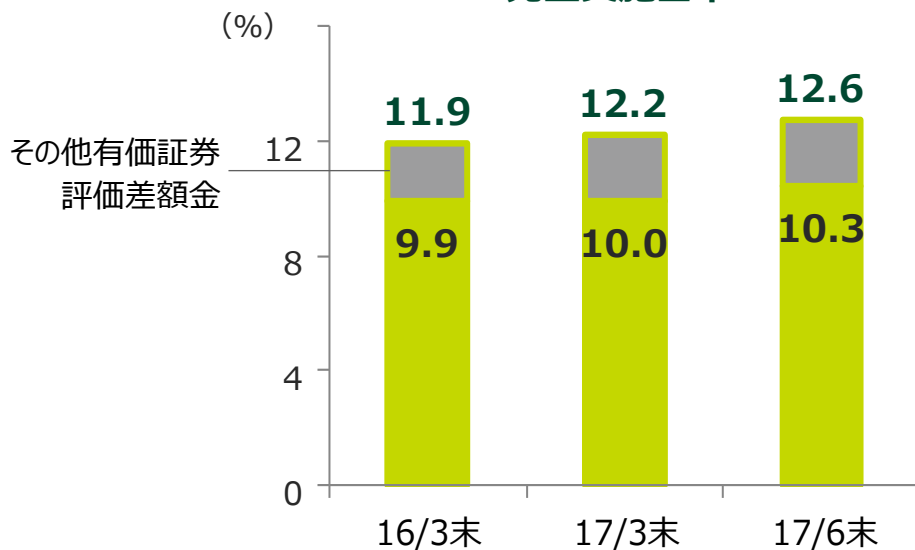
\*1 国際金融規制強化の最終的な影響として2020年度にリスクアセットが現状比+25%程度増加する前提。分子からその他有価証券評価差額金、分母から株式評価益見合分を除くベース。なお、2019年1月導入予定のバーゼルⅢ完全実施基準（含むその他有価証券評価差額金）は、現状、これを4%程度上回る水準

\*2 株主資本ベース    \*3 規制強化を踏まえた規制リスクアセットに基づく内部管理ベース

- 普通株式等Tier1（CET1）比率目標（バーゼルⅢ最終化時ベース）**10%程度**

## CET1比率

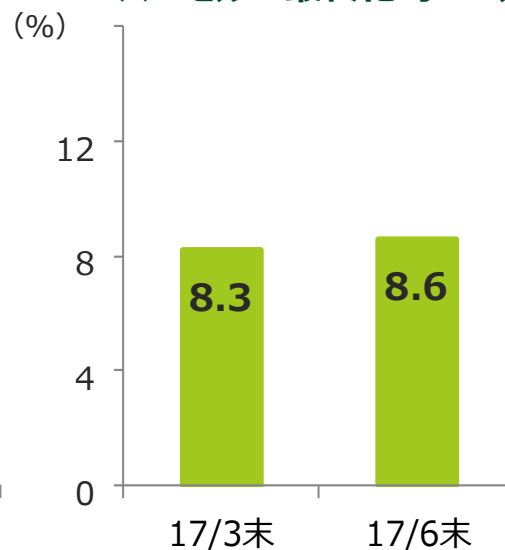
完全実施基準<sup>\*1</sup>



(兆円)

| リスクアセット<br>[株式評価益見合い分<br>を控除]      | 65.9           | 70.6           | 70.7           |
|------------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 普通株式等Tier1<br>(うちその他有価証券<br>評価差額金) | 7.90<br>(1.35) | 8.68<br>(1.54) | 8.95<br>(1.60) |

バーゼルⅢ最終化時ベース<sup>\*2</sup>



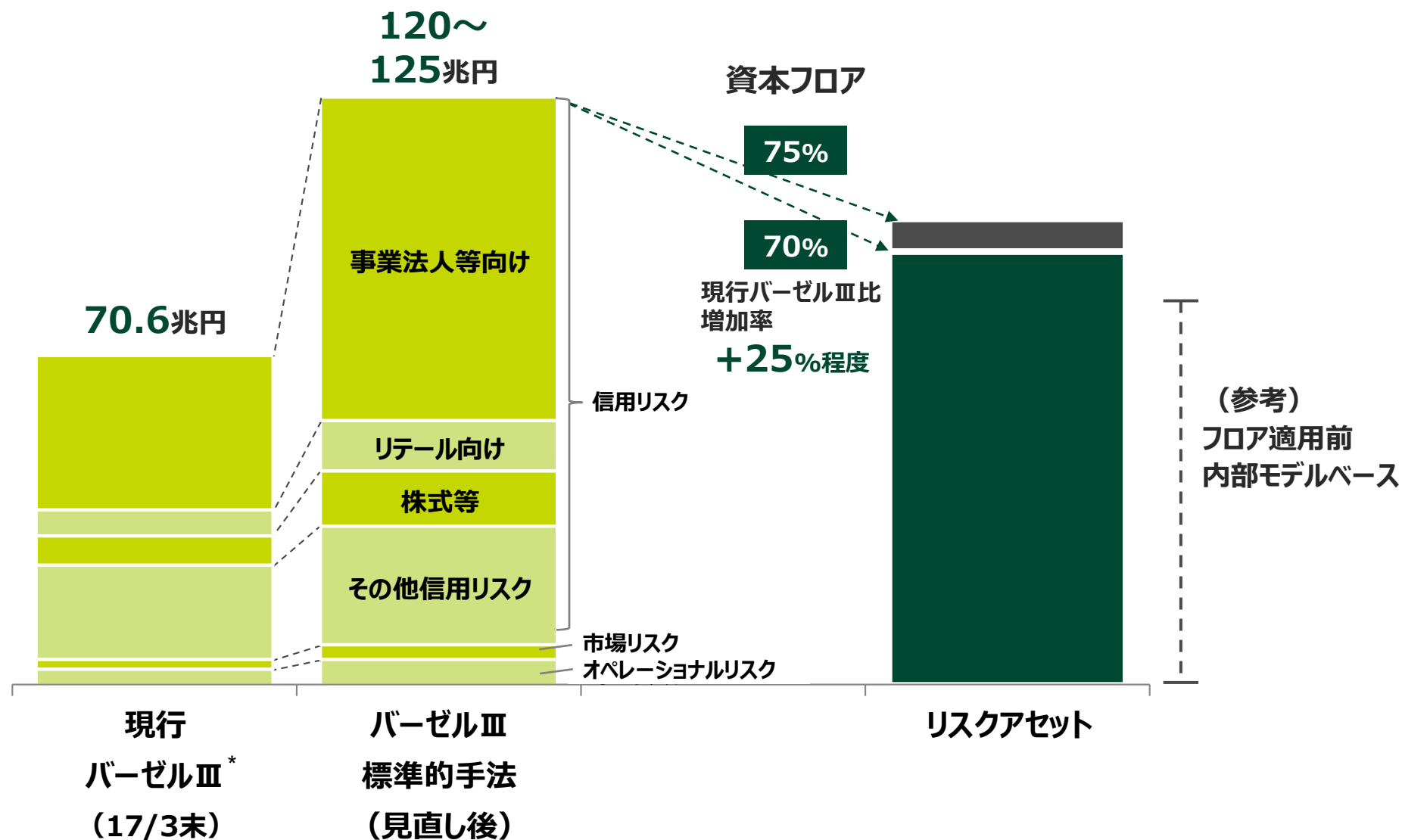
目標  
10%程度

### CET1比率の積み上がり

- 年間利益蓄積  
+50bp程度
- 地銀持分法適用  
関連会社化  
+40bp~50bp

\*1 2019年3月末に適用される定義に基づく \*2 リスクアセットが現状比+25%(2020年度)。普通株式等Tier1からその他有価証券評価差額金、リスクアセットから株式評価益見合い分を控除

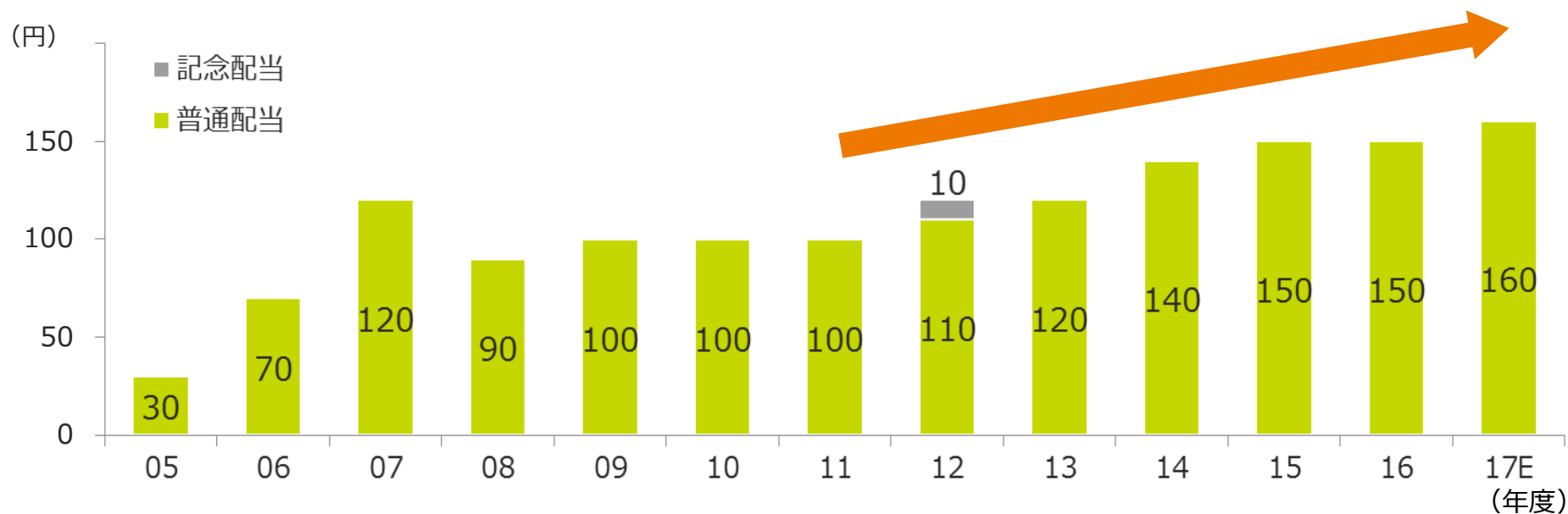
(参考) バーゼルⅢ最終化時のリスクアセット増加試算 (概数)



\* 当社はFIRBベースのフロアを適用。現状、資本フロア調整はない

- 配当は累進的とし、配当性向は40%を目指す  
※累進的配当とは、減配せず、配当維持もしくは増配を実施すること
- 2017年度の1株当たり配当は、10円増配の160円とする

## 1株当たり配当の推移\*1, 2



|        |       |       |       |   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 配当性向*3 | 3.4%  | 12.5% | 20.5% | - | 46.8% | 30.0% | 26.8% | 21.3% | 20.3% | 26.2% | 32.7% | 29.9% | 35.8% |
| ROE*4  | 22.8% | 13.8% | 15.8% | - | 7.5%  | 9.9%  | 10.4% | 14.8% | 13.8% | 11.2% | 8.9%  | 9.1%  |       |

\*1 2009年1月4日付で実施した株式分割（1株につき100株の割合をもって分割）が05年度期首に行われたと仮定した場合の計数を記載

\*2 普通株式のみ \*3 普通株連結配当性向 \*4 株主資本ベース



## グループ総合力の結集と構造改革の推進により、持続的成長を実現

- 資本・資産・経費効率を重視し、質の高い金融グループを目指す  
中期経営計画は順調にスタート
- 事業部門制・CxO制の導入により、グループベースでの運営が加速
- 17年度第1四半期業績の進捗は堅調
- 資本政策は、健全性確保、株主還元強化、成長投資をバランスよく実現する方針。バーゼルⅢ最終化の帰趨は引続き注視

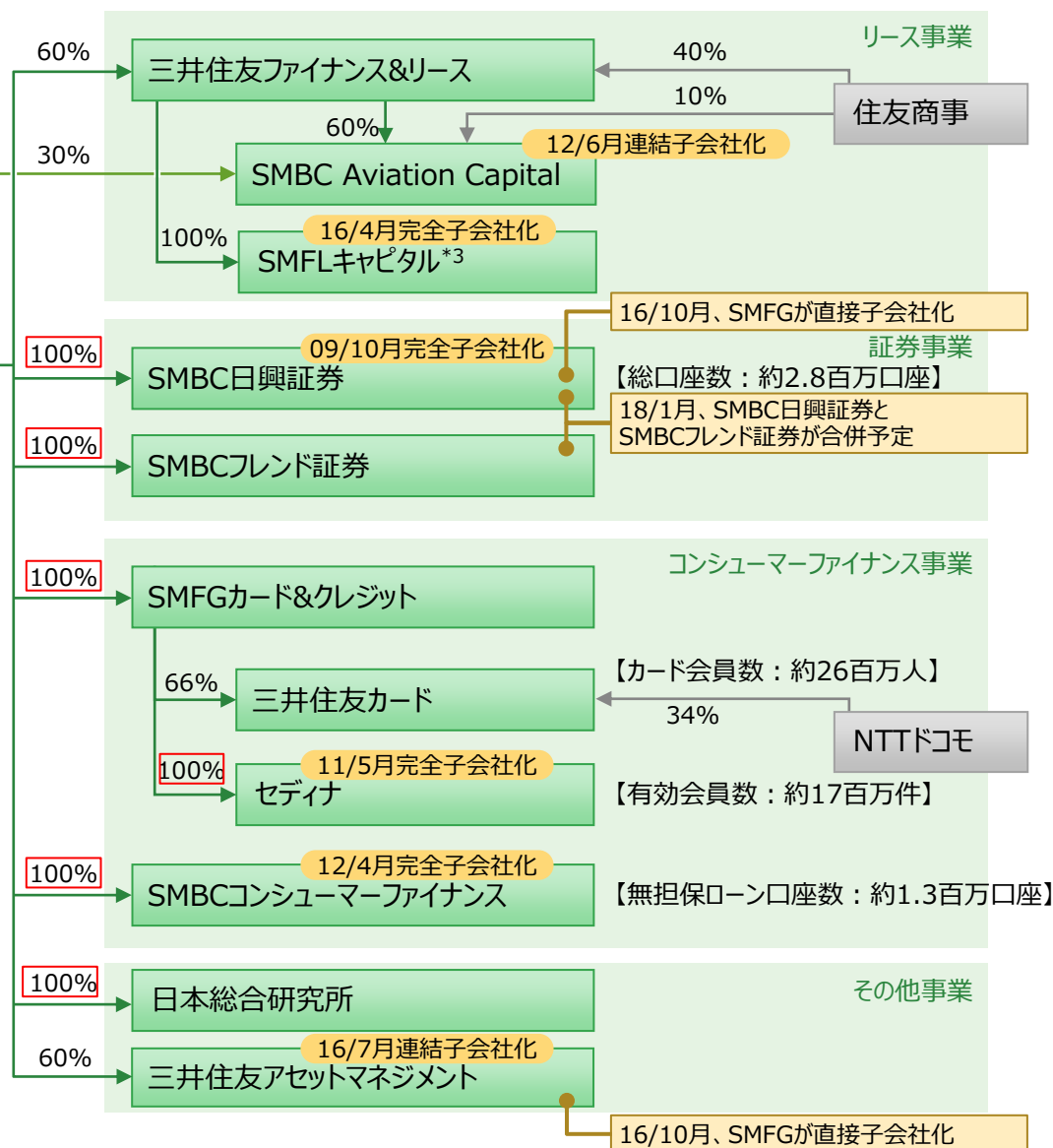
# Appendix

# 当社グループ概要\*1

| 三井住友フィナンシャルグループ |         |        |       |      |       |
|-----------------|---------|--------|-------|------|-------|
| 連結総資産           |         | 198兆円  |       |      |       |
| 連結普通株式等Tier1比率  |         | 12.17% |       |      |       |
| 格付*2            | Moody's | S&P    | Fitch | R&I  | JCR   |
|                 | A1/P-1  | A-/-   | A/F1  | A+/- | AA-/- |

三井住友銀行

|        |         |       |       |          |         |
|--------|---------|-------|-------|----------|---------|
| 総資産    | 162兆円   |       |       |          |         |
| 預金     | 106兆円   |       |       |          |         |
| 貸出金    | 76兆円    |       |       |          |         |
| 個人口座数  | 約27百万口座 |       |       |          |         |
| 法人貸出先数 | 約8.4万社  |       |       |          |         |
| 格付*2   | Moody's | S&P   | Fitch | R&I      | JCR     |
|        | A1/P-1  | A/A-1 | A/F1  | AA-/a-1+ | AA/J-1+ |



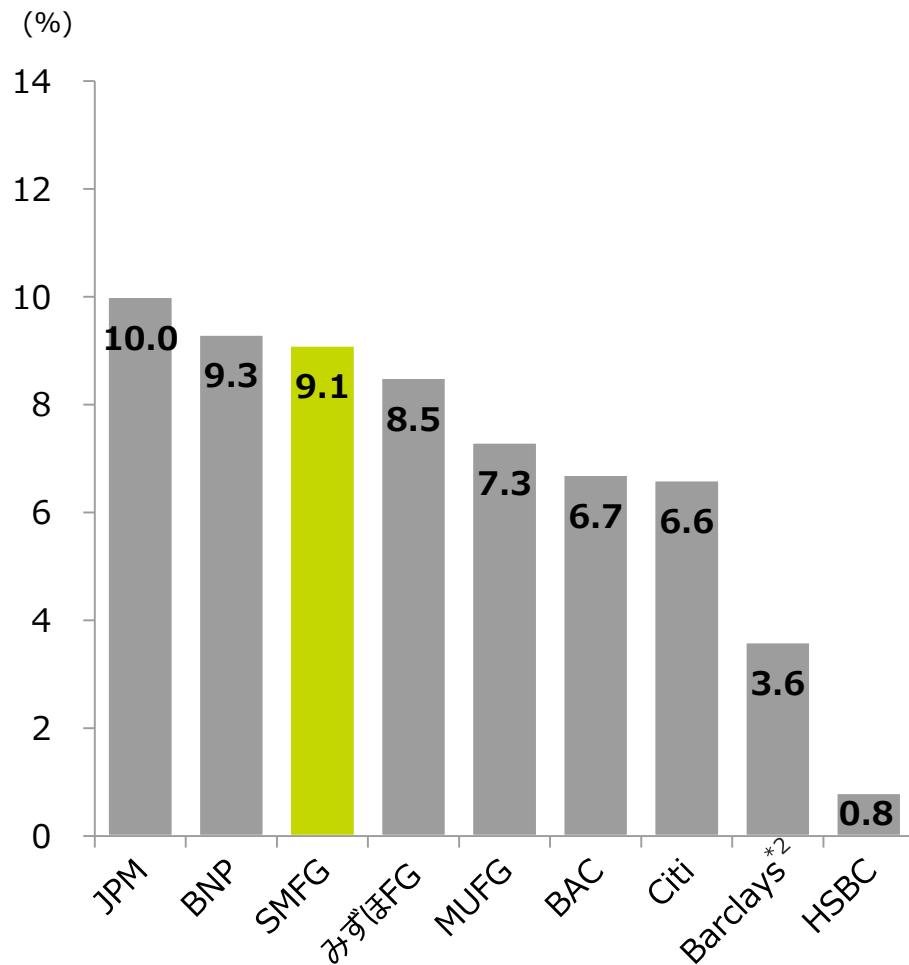
\*1 各種計数は17/3月末現在

\*2 2017/7月末現在

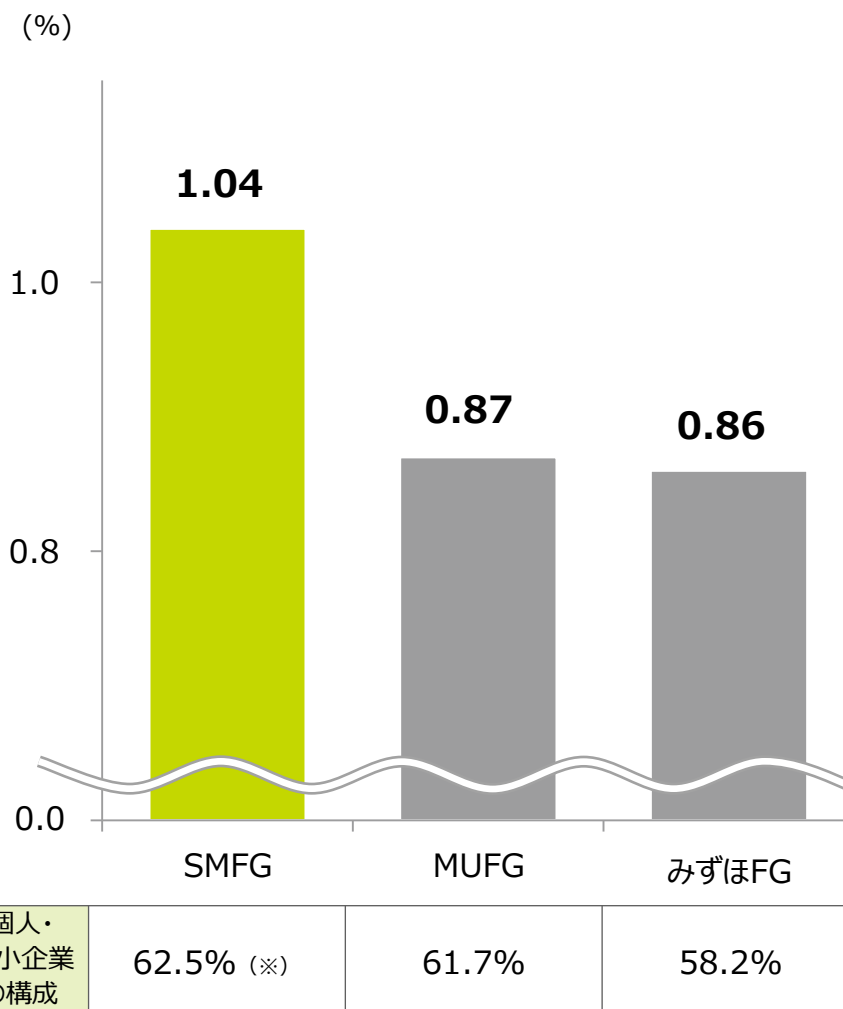
\*3 16/9月、日本GE合同会社からSMFLキャピタル株式会社に商号変更

## 他社比較

### ROEの国内外主要行比較\*1



### 国内預貸金利回差\*3



(※) 政府等向け貸出の増加及び、定義上、持株会社のSMFGが中小企業から大企業に変更となったことから、構成比が低下。

なお、16/3期のSMFG向け貸出を除く個人・中小企業の構成は65.2%

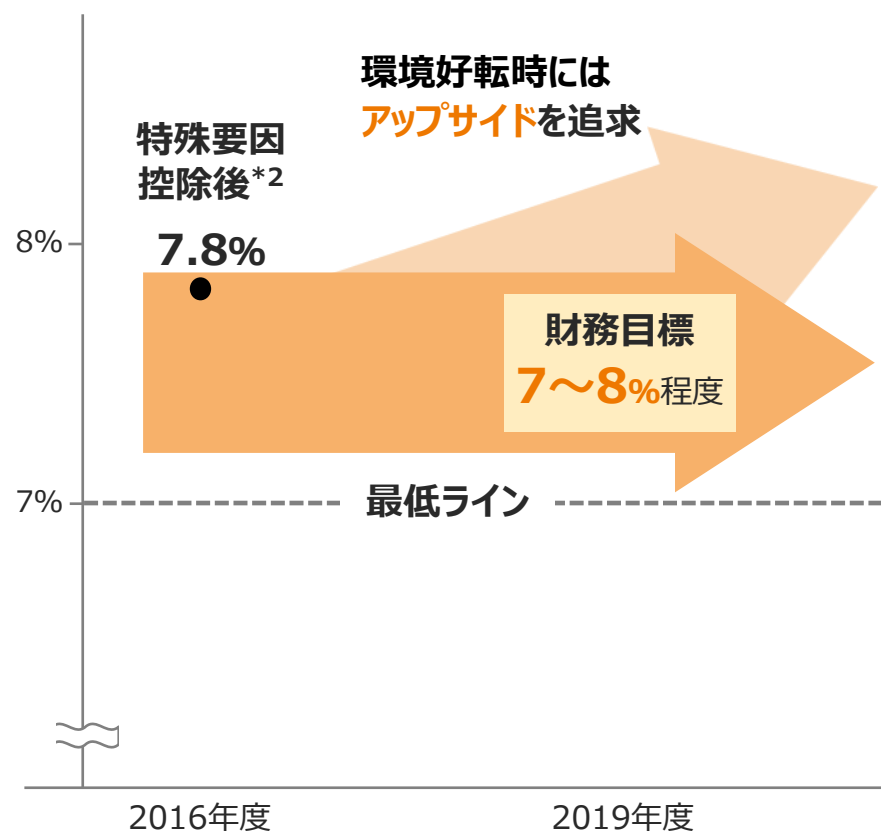
\*1 各社公表データに基づく。SMFG、MUFG、みずほFGは2016年度実績、その他は2016年1-12月実績 \*2 ROTCE: Return on tangible common equity

\*3 2016年度実績。各社公表資料に基づく。SMFGはSMBC単体、MUFGは三菱東京UFJ銀行単体、みずほFGはみずほ銀行単体

## ROE目標

- 規制対応のため当面は資本蓄積を優先するが、ROEは7%を最低ラインとして確保。また、中計施策の着実な実行に加え、規制を含む環境好転時にはアップサイドを追求
- ボトムライン収益は、構造的な減益要因を打ち返して着実な増加を実現

### ROE\*1

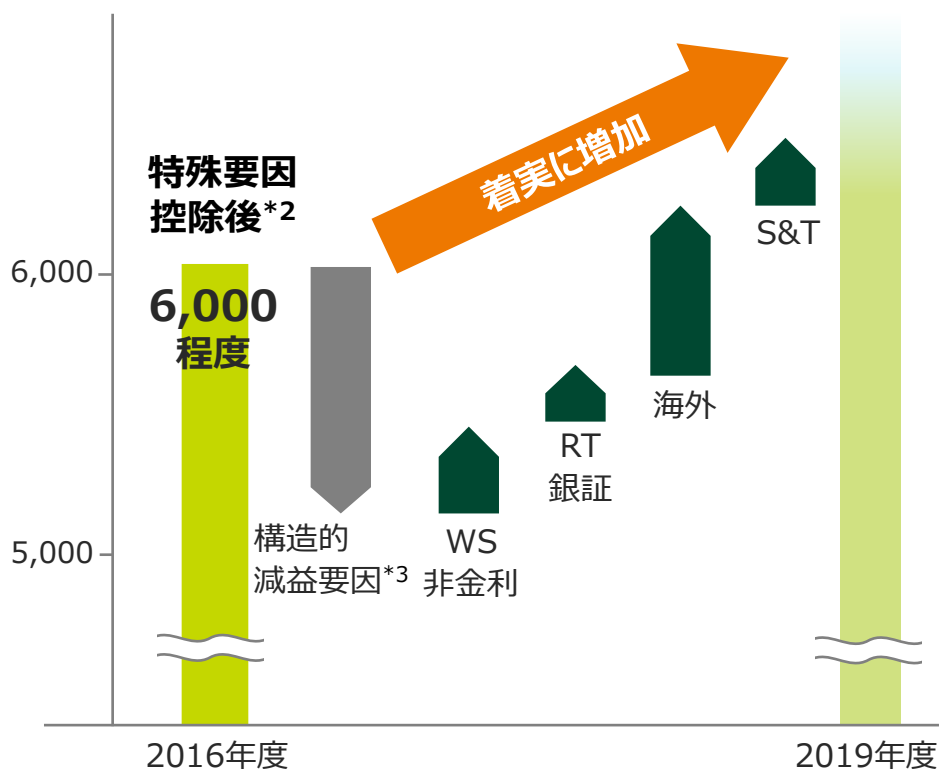


\*1 株主資本ベース

\*2 連結納税導入による影響等特殊要因を除いたもの

### 当期純利益

(億円)

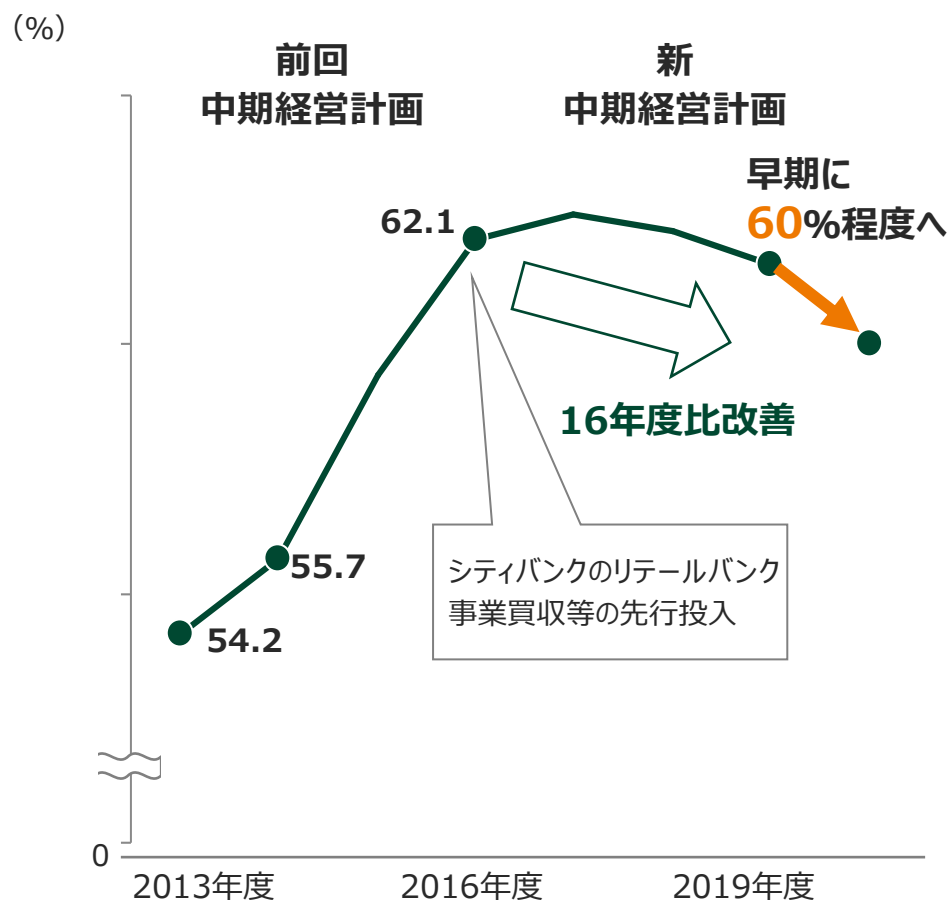


\*3 円金利影響、国内貸出利鞘低下、外貨調達コスト増加等の減益要因

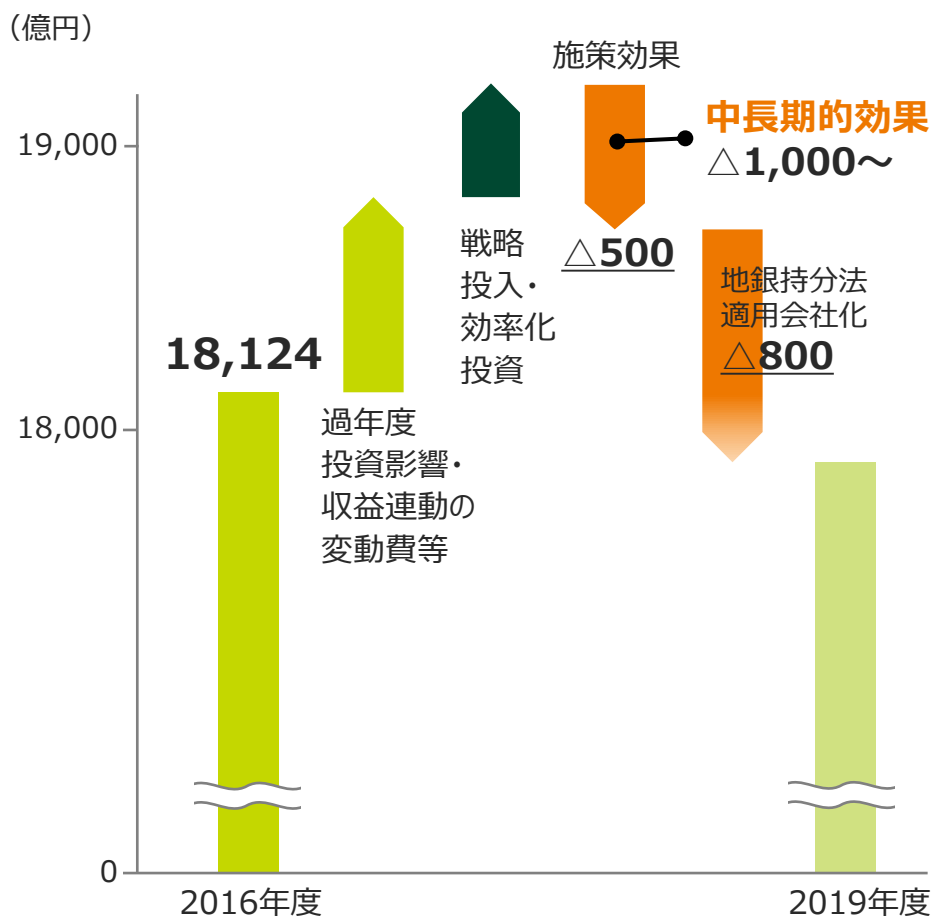
## 経費率目標

- グループベースで生産性改革に取り組み、経費率を下方へ反転
- 改善トレンドを定着させ、2020年度以降早期に60%程度への改善を目指す

### 経費率



### 経費増減イメージ



# 事業部門別計画

|                | ROE          |                                                                                     |                                                                                                                                                   | 業務純益（億円）     |             | リスク<br>アセット<br>（兆円）         |
|----------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------|-----------------------------|
|                | 2019年度<br>計画 | 2016<br>年度比<br>(中計策定時)                                                              | 中計3カ年の考え方                                                                                                                                         | 2019年度<br>計画 | 2016<br>年度比 | 2016年度<br>[うち信用<br>リスクアセット] |
| リテール<br>事業部門   | 7%           |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>当初は店舗改革等の一時費用が発生するものの、後年度は日興・フレンド統合や店舗改革の効果が顕在化</li> <li>リスクアセットは、カード・CF等の強化を図りつつ、全体では減少</li> </ul>        | 2,850        | +150        | 13.6<br>[12.8]              |
| ホールセール<br>事業部門 | 10%          |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務純益は、証券業務強化等により増益の一方、クレジットコスト平準化により当期純利益は微減</li> <li>リスクアセットは、政策保有株式売却等により削減</li> </ul>                   | 4,750        | +100        | 20.8<br>[20.4]              |
| 国際<br>事業部門     | 9%           |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>当初は過年度投資や証券強化等の経費影響があるものの、後年度は成果刈取りにより増益を実現</li> <li>3カ年のリスクアセットの増加率は前3年（+22%）比約5割。後年度にかけ増加額を抑制</li> </ul> | 4,150        | +500        | 21.9<br>[20.4]              |
| 市場<br>事業部門     | 39%          |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>セールス&amp;トレーディング強化により増益を実現</li> <li>機動的なポートフォリオマネジメントでリスクアセットを削減</li> </ul>                                | 3,350        | +200        | 6.9<br>[4.6]                |

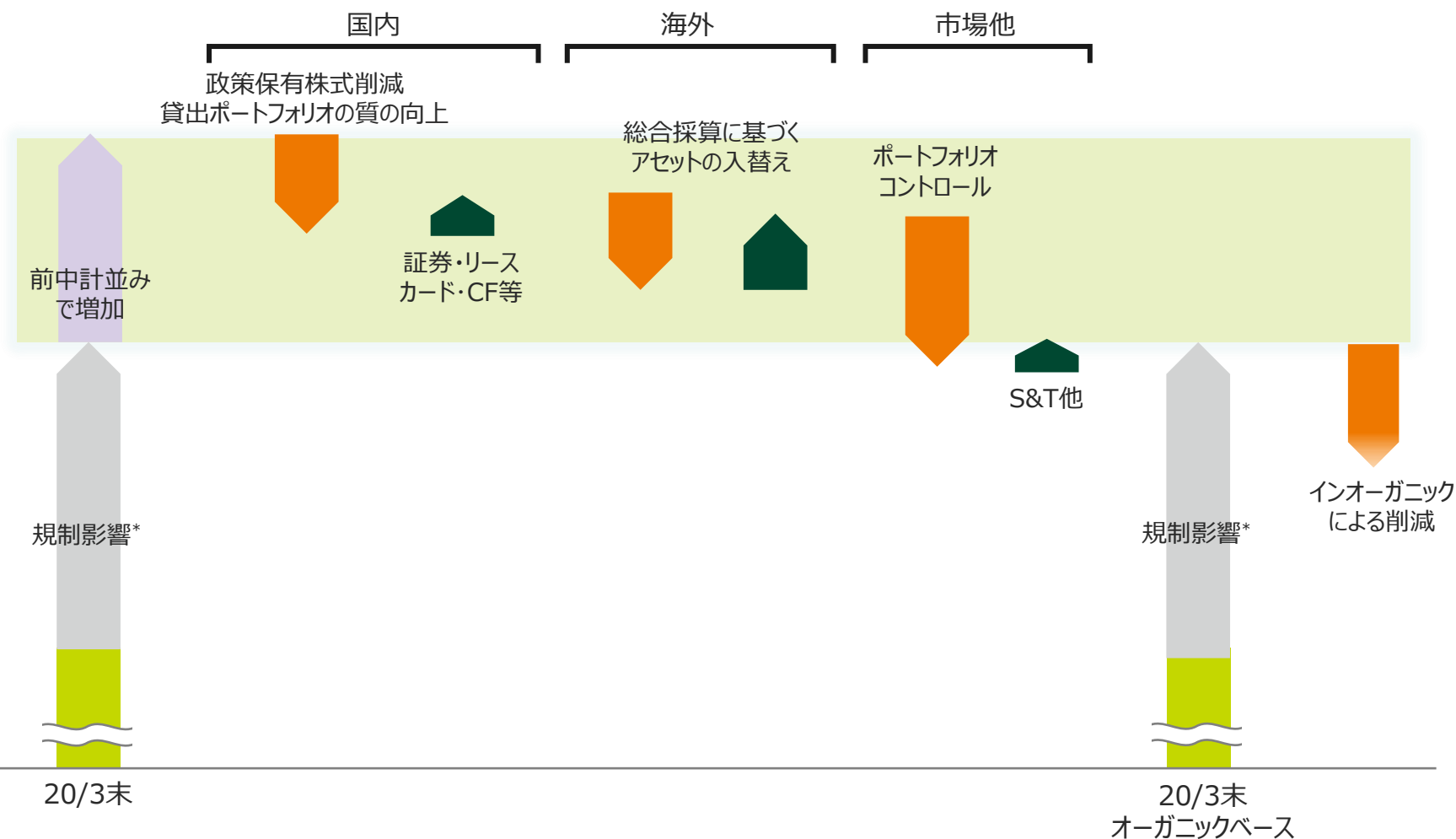
注：

- 各事業部門のROEは規制強化を踏まえたリスクアセットに基づく内部管理ベース。  
国際事業部門のROEは外貨中長期調達コストを除くベース。市場事業部門は、バンキング勘定の金利リスク見合いを含まず。  
各事業部門の中計3カ年の考え方に記載するリスクアセットの投入方針は、現行規制ベース
- 各事業部門の16年度比は金利・為替影響等調整後
- 各事業部門の16年度実績は現行規制に基づく内部管理ベース

## 事業・アセットポートフォリオ・収益構造の質の転換

- 規制強化に伴うリスクアセット増加を踏まえ、現行規制ベースでのリスクアセット総額は略横這いを計画
- 良質で資産効率の良いビジネスにアセットを投入する一方、低採算アセットの削減等によりポートフォリオを入替え、リスクアセットをコントロール。更に、インオーガニックによる削減も追求

(単位：兆円)



\* 現行対比+25%程度の増加を想定し計画策定

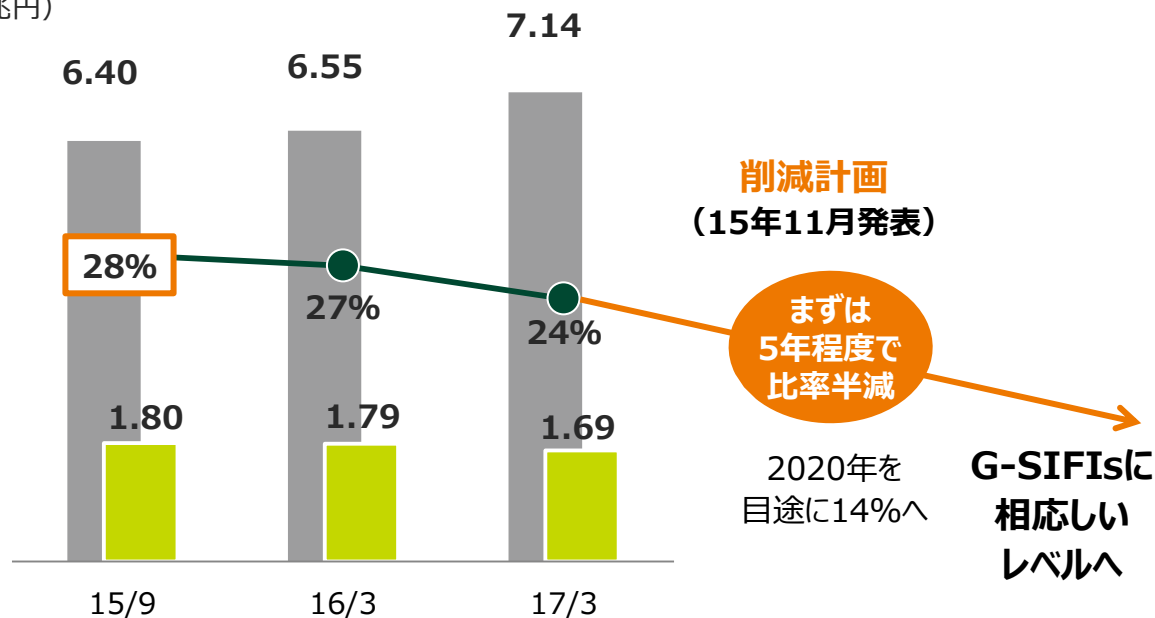


- 2015年9月末を起点に、まずは5年程度で株式の普通株式等Tier1に対する比率\*の半減を目指す
  - 国内上場株式簿価残高の最大3割程度、金額では約5,000億円（単年度1,000億円）の削減
  - 2016年度は、約1,000億円の削減。2017年度も標準進捗ペースで削減中

\* 連結ベース 国内上場株式簿価／CET1 （CET1は、バーゼルⅢ完全実施基準、その他有価証券評価差額金を除く）

## 政策保有株式の推移及び削減計画（連結）

（兆円）



■ CET1（バーゼルⅢ完全実施基準、その他有価証券評価差額金を除くベース）

■ その他有価証券の「株式」のうち国内上場株式簿価

● 株式のCET1に対する比率

## 削減実績

2016年度 : 約1,000億円

2017年度（第1四半期） : 約250億円

（15/9末～17/6末の累計 : 約1,400億円）

## 未売却の売却応諾残高

17/6月末 : 約1,100億円

## 2017年度の進捗、業績目標

| (億円) |          | 16年度<br>実績 | 4-6月<br>実績 | 上期目標   | 17年度<br>目標 | 前年比  |
|------|----------|------------|------------|--------|------------|------|
| 連結   | 連結業務純益*  | 11,329     | 3,032      | 5,500  | 11,300     | ▲29  |
|      | 与信関係費用   | ▲1,644     | ▲148       | ▲1,100 | ▲2,100     | ▲456 |
|      | 経常利益     | 10,059     | 3,162      | 4,600  | 9,700      | ▲359 |
|      | 親会社株主純利益 | 7,065      | 2,415      | 3,100  | 6,300      | ▲765 |

|    |        |       |       |       |       |        |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 単体 | 業務純益*  | 8,467 | 1,513 | 2,800 | 6,000 | ▲2,467 |
|    | 与信関係費用 | ▲611  | △146  | ▲450  | ▲800  | ▲189   |
|    | 経常利益   | 8,640 | 1,880 | 2,400 | 5,500 | ▲3,140 |
|    | 当期純利益  | 6,818 | 1,684 | 2,000 | 4,300 | ▲2,518 |

\* 一般貸倒引当金繰入前

### 連結業務純益

これまでの円金利低下や国内貸出利鞘低下等の構造的な減益要因を、非金利収益増強や海外ビジネス拡大等により打ち返し、前年比略横這いを確保

### 与信関係費用

SMBCにおける引当金戻り益の縮小や、先行き不透明な環境の継続から増加を予想

### 親会社株主純利益

特殊要因を除いたベースの当期純利益は、着実に増加（16年度は連結納税制度導入に伴う税効果影響が1,000億円程度あり）

### 業績目標の前提

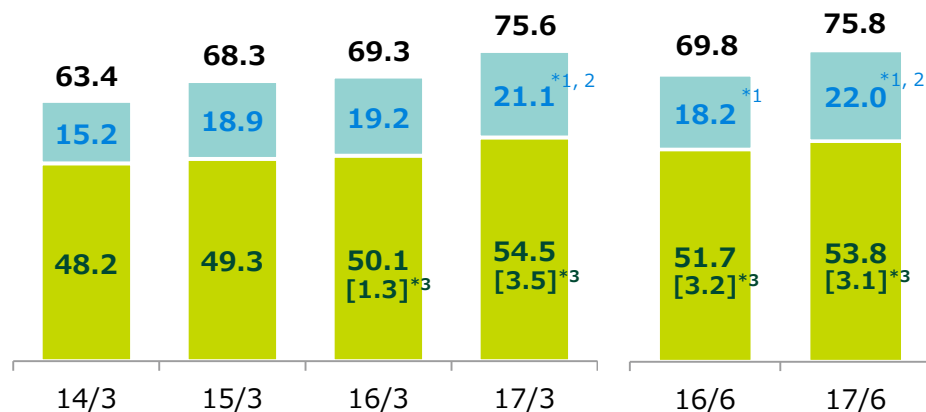
|            |         | 16年度<br>実績 | 17年度   |
|------------|---------|------------|--------|
| 3ヶ月TIBOR   |         | 0.06%      | 0.06%  |
| FF金利（誘導水準） |         | 1.00%      | 1.25%  |
| 為替相場       | (円／米ドル) | 112.19     | 110.00 |
|            | (円／ユーロ) | 119.84     | 115.00 |

# 貸出金

## 貸出金残高（単体）

（兆円） ■ 海外店分及び特別国際金融取引勘定分

■ 国内店分（除く特別国際金融取引勘定）



## 期中平均貸出残高\*4

| (兆円、%)       | 平均残高     |         |
|--------------|----------|---------|
|              | 16年度     | 前年比*9   |
| 国内貸出（単体）     | 51.9     | +3.3    |
| 除く政府等・SMFG向け | 48.3     | +1.1    |
| うち大企業*5      | 14.5     | +0.6    |
| うち中堅・中小企業*6  | 16.7     | +0.4    |
| うち個人         | 14.1     | ▲0.1    |
| 国際部門運用資産*7,8 | 2,445億ドル | +161億ドル |

## 国内預貸金利回差（単体）

| (%)    | 16年度 |      |        |      | 17年度 |
|--------|------|------|--------|------|------|
|        | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 |
| 貸出金利回  | 1.13 | 1.05 | 1.01   | 1.02 | 0.99 |
| 預金等利回  | 0.01 | 0.01 | 0.01   | 0.00 | 0.00 |
| 預貸金利回差 | 1.12 | 1.04 | 1.00   | 1.02 | 0.99 |

（参考）政府等向け貸出金控除後

|        |      |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|
| 貸出金利回  | 1.15 | 1.12 | 1.08 | 1.07 | 1.04 |
| 預貸金利回差 | 1.14 | 1.11 | 1.07 | 1.07 | 1.04 |

## 期中平均貸出スプレッド\*4

| (兆円、%)       | スプレッド |       |
|--------------|-------|-------|
|              | 16年度  | 前年比   |
| 国内貸出（単体）     | 0.83  | ▲0.08 |
| 除く政府等・SMFG向け | 0.88  | ▲0.05 |
| うち大企業*5      | 0.57  | ▲0.02 |
| うち中堅・中小企業*6  | 0.75  | ▲0.07 |
| うち個人         | 1.50  | ▲0.02 |
| 国際部門運用資産*7,8 | 1.21  | 0.00  |

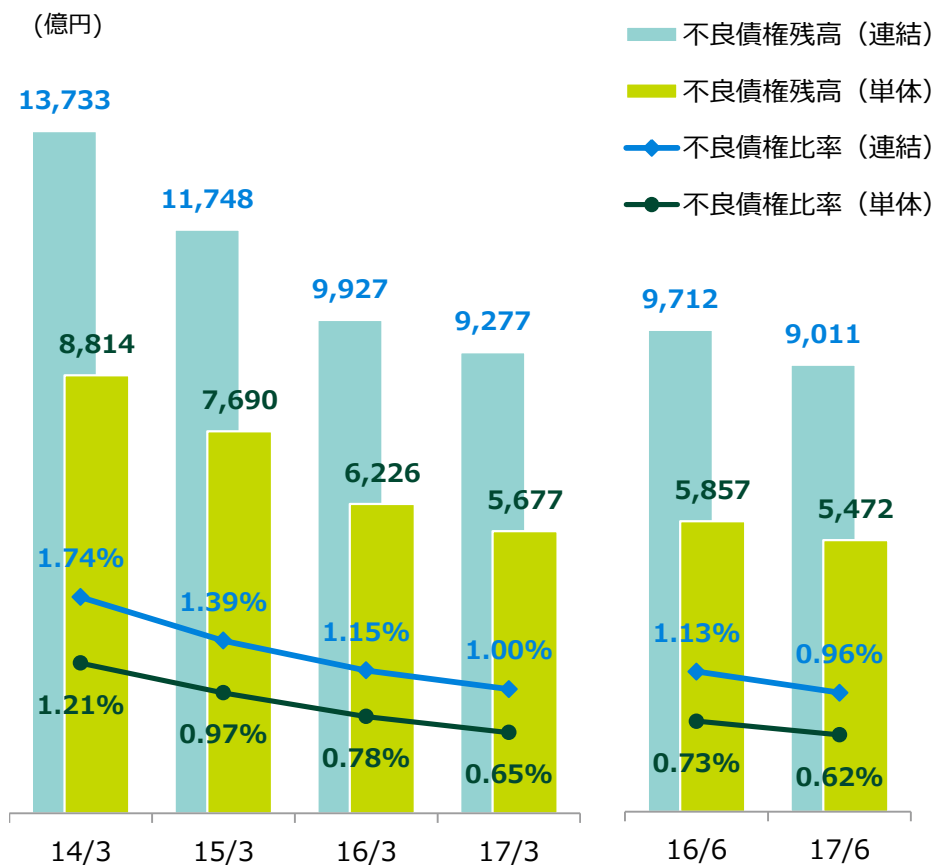
\*1 各月末TTM 16/6月末：102.96円/ドル、114.37円/ユーロ 17/3月末：112.19円/ドル、119.84円/ユーロ 17/6月末：111.96円/ドル、127.90円/ユーロ

\*2 17/3月末より、カナダ支店（16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継）の残高を含む \*3 うち政府等・SMFG向け \*4 内部管理ベース

\*5 GCB本部 \*6 CB本部、エリア企業本部の合算 \*7 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 \*8 貸出金・貿易手形・有価証券の合計 \*9 為替影響等調整後ベース

# 不良債権残高・与信関係費用

## 不良債権残高及び同比率\*1

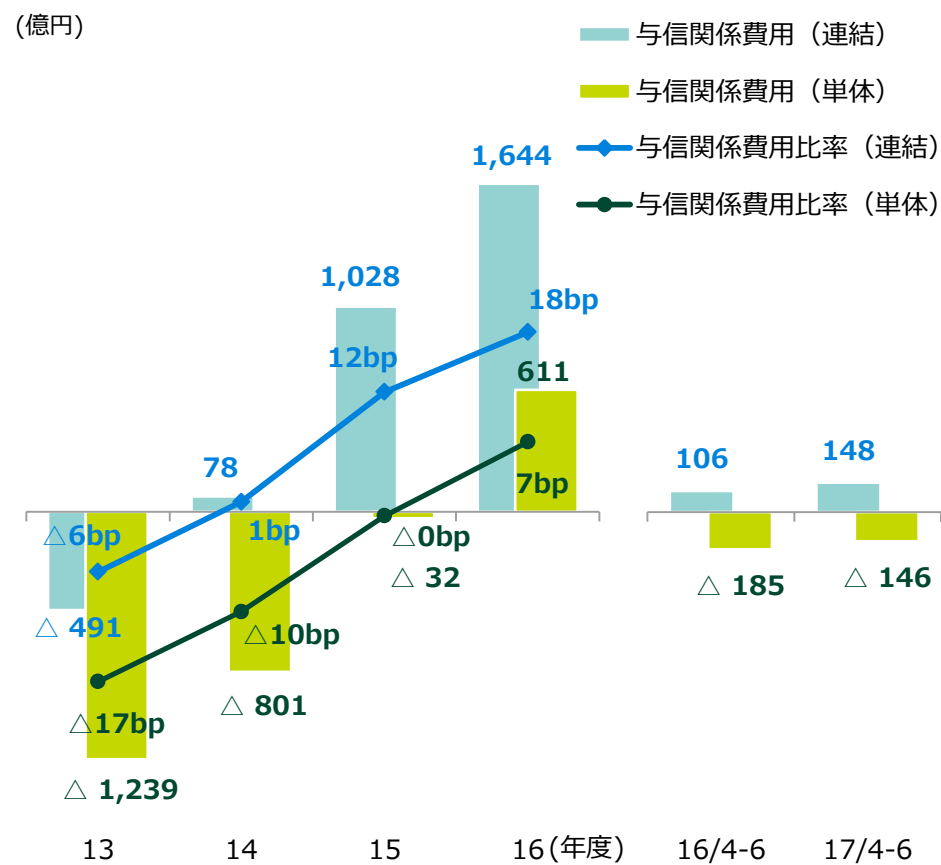


### 総与信末残 (上段：連結、下段：単体)

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 79 | 85 | 87 | 93 | 86 | 94 |
| 73 | 79 | 80 | 87 | 80 | 88 |

(兆円)

## 与信関係費用及び同比率\*2



### 連単差の主な内訳 (概数)

| (億円)   | 16年度 | 前年比 | (億円)     | 16年度 | 前年比 |
|--------|------|-----|----------|------|-----|
| SMBCCF | ▲730 | ▲50 | セディナ     | ▲130 | ▲10 |
| SMCC   | ▲130 | ▲20 | 欧州三井住友銀行 | ▲10  | △90 |

\*1 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高 (除く正常債権) / 総与信

\*2 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

## 事業部門別粗利益・業務純益

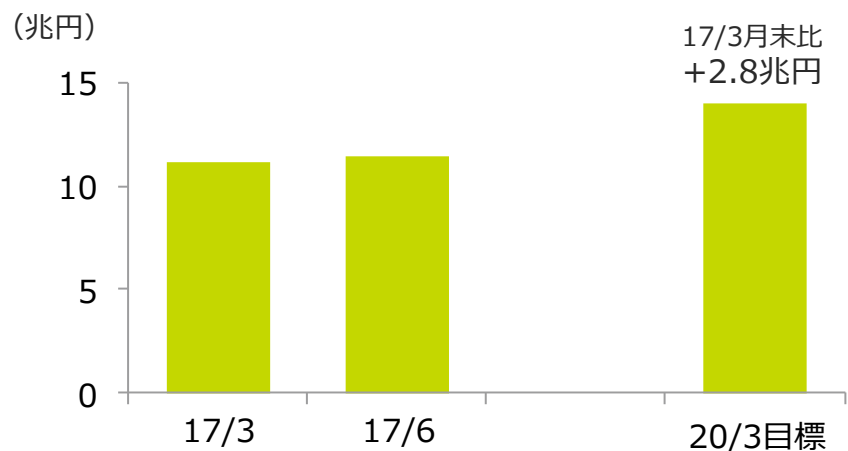
| (億円)         |       |       | 16年度*1     |         | 17年度4-6月 |      |
|--------------|-------|-------|------------|---------|----------|------|
|              |       |       | 16年度4-6月*1 |         | 前年同期比*2  |      |
| うちリテール事業部門   | 業務粗利益 | 業務粗利益 | 3,064      | 12,889  | 3,138    | +142 |
|              |       | 経費    | ▲2,577     | ▲10,154 | ▲2,558   | ▲37  |
|              |       | その他   | 16         | 122     | 14       | ▲1   |
|              |       | 業務純益  | 503        | 2,857   | 594      | +104 |
| うちホールセール事業部門 | 業務粗利益 | 業務粗利益 | 1,690      | 7,756   | 1,667    | +7   |
|              |       | 経費    | ▲809       | ▲3,467  | ▲855     | ▲45  |
|              |       | その他   | 84         | 441     | 96       | +14  |
|              |       | 業務純益  | 965        | 4,730   | 908      | ▲24  |
| うち国際事業部門     | 業務粗利益 | 業務粗利益 | 1,409      | 5,858   | 1,472    | ▲18  |
|              |       | 経費    | ▲598       | ▲2,519  | ▲712     | ▲37  |
|              |       | その他   | 89         | 302     | 198      | +150 |
|              |       | 業務純益  | 900        | 3,641   | 958      | +95  |
| うち市場事業部門     | 業務粗利益 | 業務粗利益 | 1,339      | 3,466   | 1,226    | ▲119 |
|              |       | 経費    | ▲131       | ▲503    | ▲132     | ▲2   |
|              |       | その他   | 15         | 81      | 44       | +8   |
|              |       | 業務純益  | 1,223      | 3,044   | 1,138    | ▲113 |
| 合計           | 業務粗利益 | 業務粗利益 | 7,158      | 29,207  | 7,374    | +217 |
|              |       | 経費    | ▲4,432     | ▲18,124 | ▲4,539   | ▲107 |
|              |       | その他   | 68         | 246     | 196      | +128 |
|              |       | 業務純益  | 2,794      | 11,329  | 3,032    | +237 |

\*1 2016年度の収益管理制度に基づき、2017年度からの事業部門ベースに組換えた実績

\*2 金利・為替影響等調整後

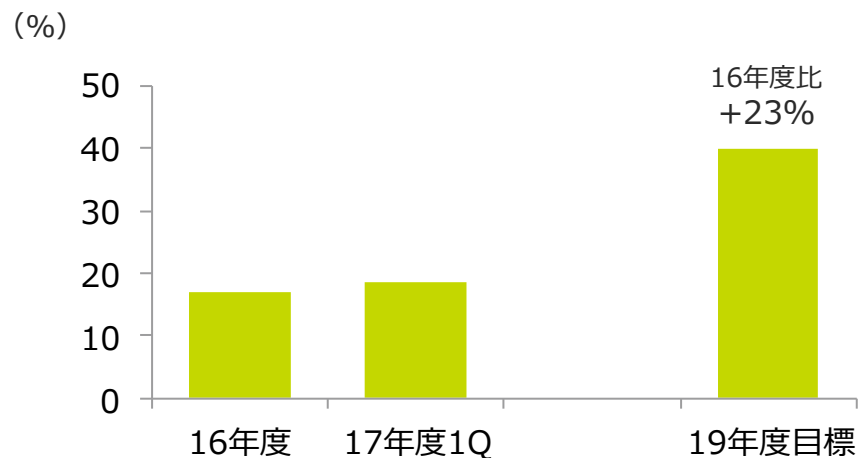
## 資産管理型運用ビジネス

### ストック収益資産残高 (SMBC+SMBC日興)



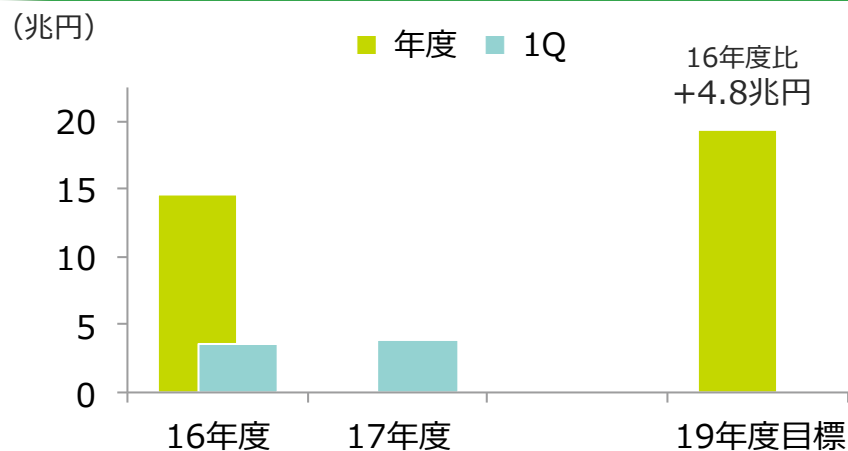
## デジタル化

### デジタルチャネル利用率 (SMBC) \*2



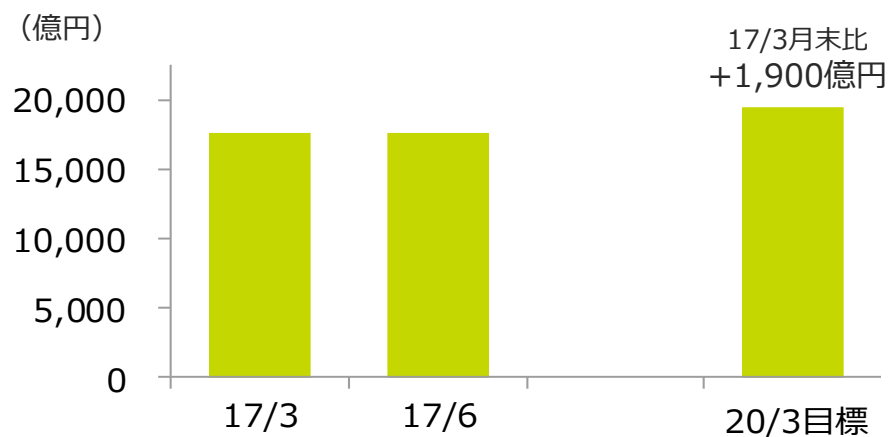
## 決済ビジネス

### クレジットカード買物取扱高 (SMCC+セディナ) \*1



## コンシューマーファイナンス

### カードローン残高 (グループ合算)

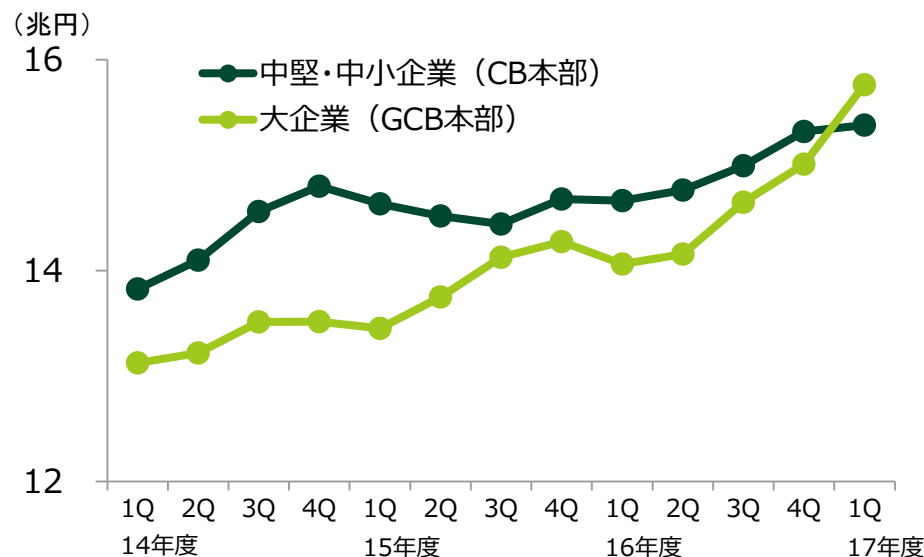


\*1 クレジットカード及びデビットカードでの買物取扱高

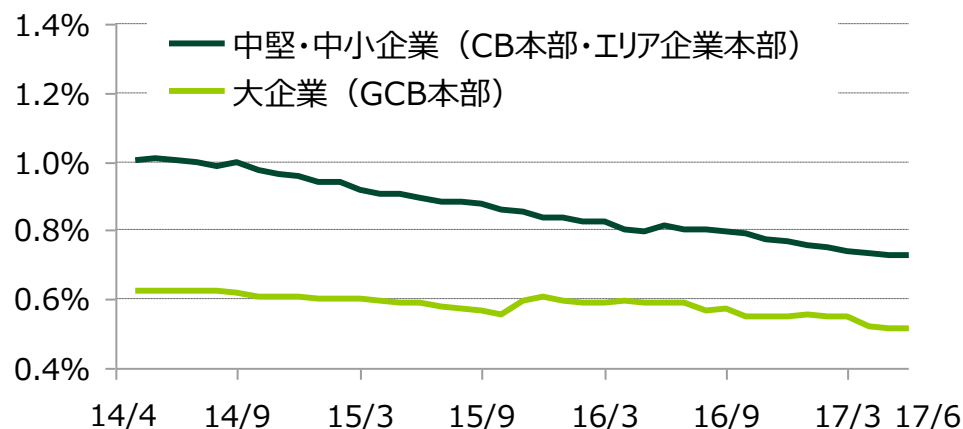
\*2 デジタル利用顧客 / (店頭利用顧客 + デジタル利用顧客)

# ホールセールビジネス

## ホールセール部門貸出金残高（単体）\*1, 2

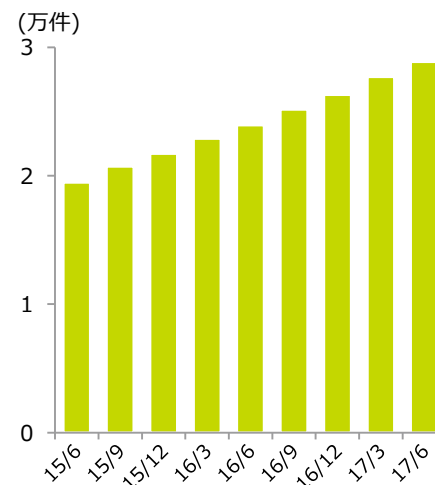


## 国内法人向け貸出金スプレッド（単体）\*1, 3

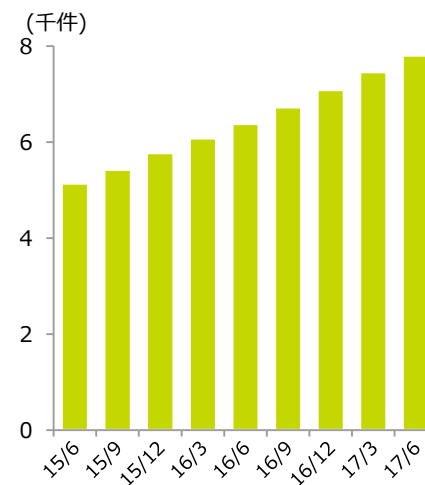


## 銀証連携（法人）

### 運用業務（累積件数）



### 投資銀行業務（累積件数）



## リーグテーブル（17年4月-6月）\*4

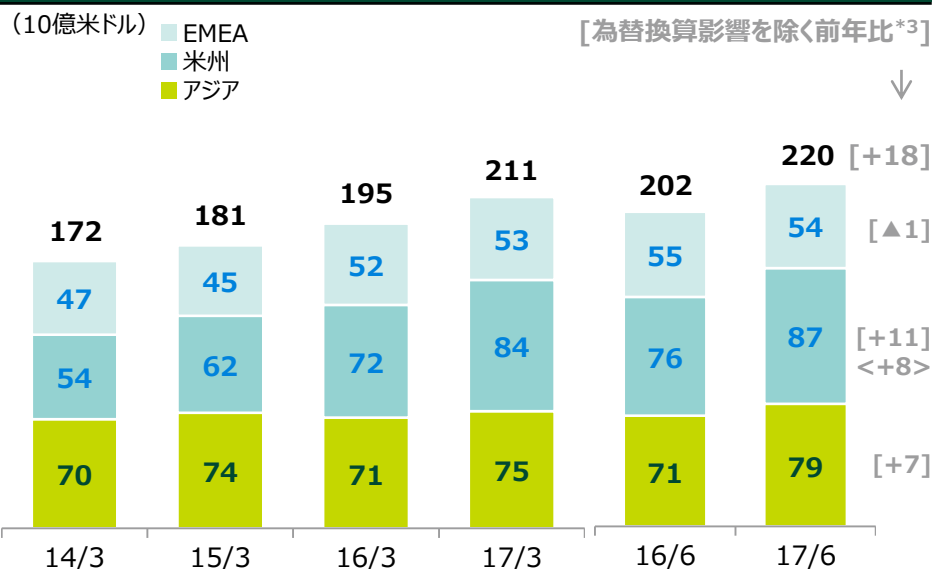
|                             | 順位 | シェア   |
|-----------------------------|----|-------|
| 株式関連（ブックランナー、引受金額）*5        | 6位 | 9.9%  |
| 円債総合（主幹事、引受金額）*6            | 1位 | 19.5% |
| ファイナンシャル・アドバイザー（M&A、案件数）*7  | 1位 | 5.5%  |
| ファイナンシャル・アドバイザー（M&A、取引金額）*7 | 2位 | 14.8% |
| IPO（主幹事、案件数）*8              | 3位 | 15.4% |

\*1 内部管理ベース。政府等向けを除く \*2 四半期平残 \*3 月次、ストックベース

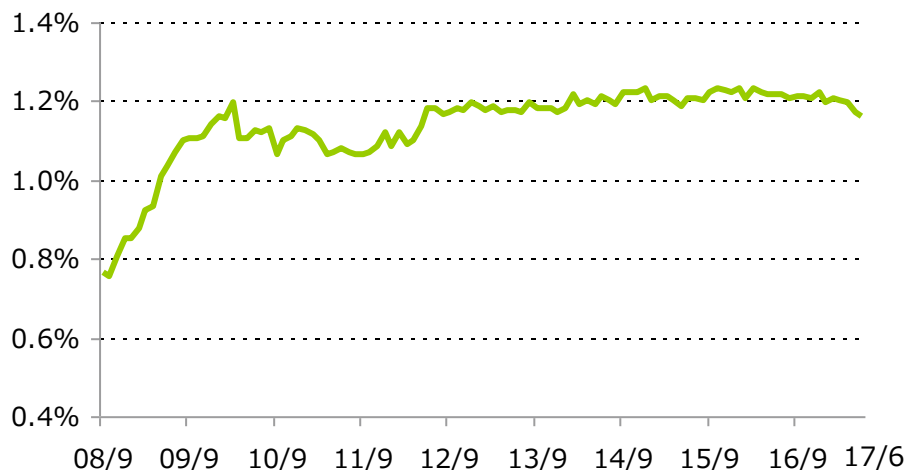
\*4 株式関連、円債総合はSMBC日興、ファイナンシャル・アドバイザー、IPOはSMFG。出所：トムソンロイターの情報を基にSMBC日興が作成 \*5 日本企業関連、海外拠点を含む

\*6 事業債、財投機関債・地方債（主幹事方式）、サムライ債 \*7 日本企業関連公表案件、グループ合算 \*8 REITのIPOを除く、海外拠点を含む

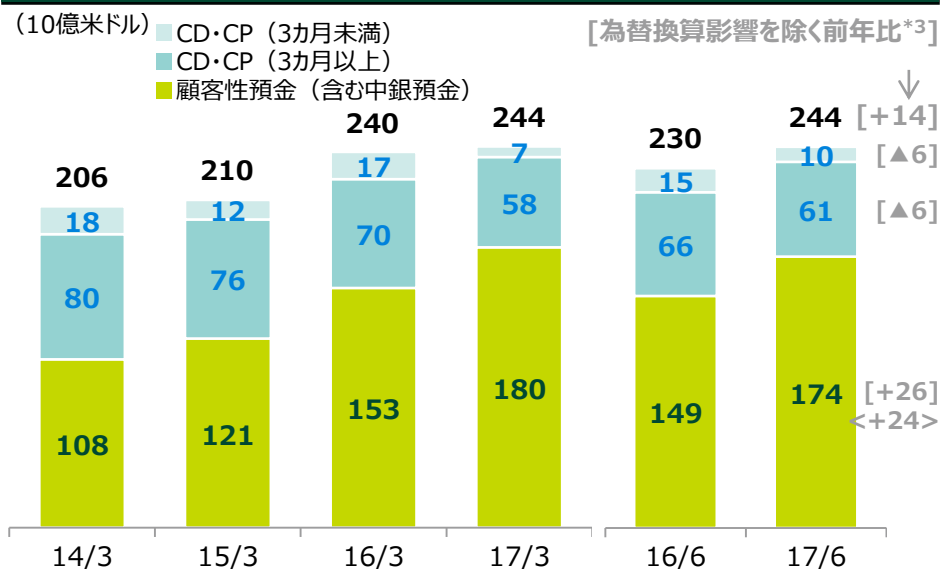
## 海外貸出金残高\*1, 2



## 海外貸出金スプレッド\*1, 4



## 海外預金等残高\*1, 2



|                         |     |      |      |      |      |
|-------------------------|-----|------|------|------|------|
| 外貨建債券発行残高*5<br>(10億米ドル) | シニア | 32.9 | 44.1 | 33.9 | 45.8 |
|                         | 劣後  | 4.1  | 4.1  | 4.1  | 4.1  |

## 外貨建債券の主な発行事例 (17/4月以降、海外市場、機関投資家向け)

- ユーロ建シニア債 (TLAC債) 発行 (17/6月)
  - 12.5億ユーロ (5年変動、10年固定)
- 米ドル建シニア債 (TLAC債) 発行 (17/7月)
  - 42.5億米ドル (5年固定、10年固定、5年変動)
- 豪ドル建シニア債 (TLAC債) 発行 (17/9月)
  - 7.5億豪ドル (5.5年固定、5.5年変動)

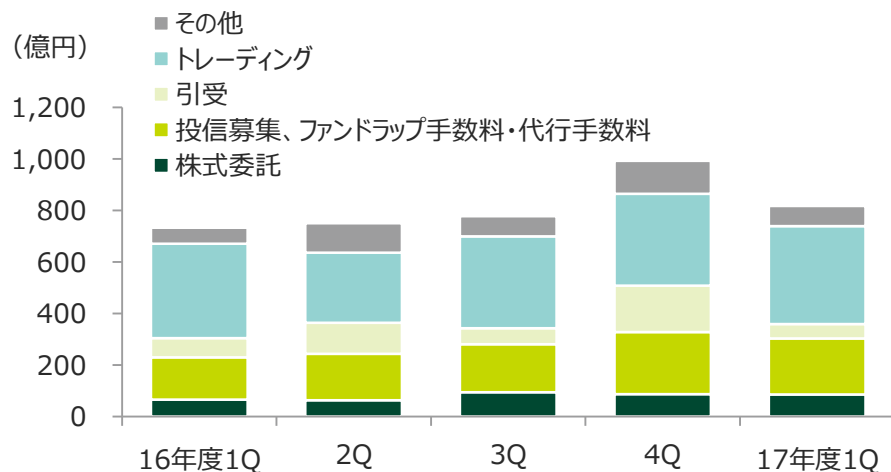
\*1 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行 (中国) の合算。17/3月末より、カナダ支店 (16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継) の残高を含む \*2 各期末実績レートにて換算 \*3 各現地通貨の対米ドル為替換算影響を除く前年比。< > はカナダ支店化による増加影響を除くベース \*4 月次、ストックベース \*5 SMFG及びSMBCの発行分



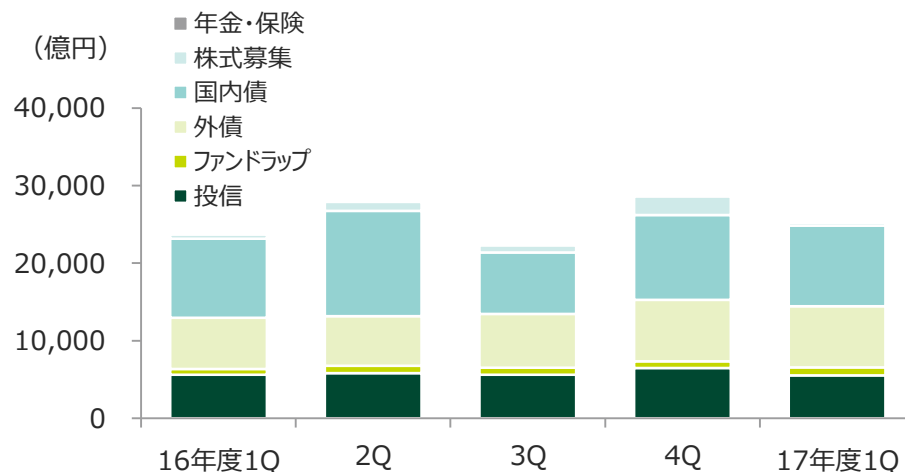
## 業績（連結）

| （億円）          | 16年度   | 17年度<br>4-6月 | 前年<br>同期比 |
|---------------|--------|--------------|-----------|
| 純営業収益         | 3,267  | 821          | +85       |
| 販売費・一般管理費     | ▲2,509 | ▲623         | ▲35       |
| 経常利益*1        | 800    | 209          | +52       |
| 親会社株主純利益*1, 2 | 469    | 144          | +37       |

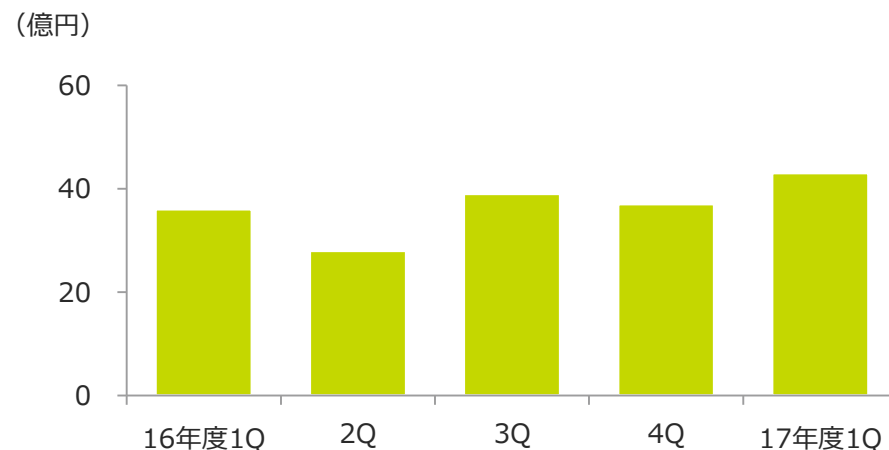
## 純営業収益\*3



## 商品販売額\*4



## 海外拠点の収支（海外4拠点合計）\*5



\*1 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益等を含む \*2 パークレイズとの提携事業再編清算金120億円を16年度に特別損失に計上

\*3 2017年度第1四半期より、ファンドラップ手数料を其他からファンドラップ手数料・代行手数料へ組み替えて表示（2016年度も遡及して変更）

\*4 2017年度第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額に含めて集計

\*5 内部管理ベース。海外4拠点合計は、下記の合計値

- ・ SMBC日興の連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支
- ・ SMBC日興の持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の収支

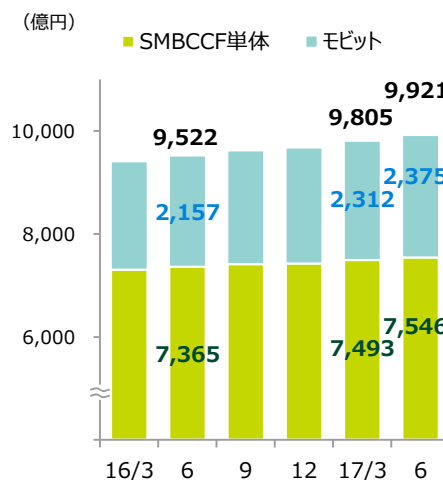
## 業績（連結）

| (億円)     | 16年度   | 17年度<br>4-6月 | 前年<br>同期比 |
|----------|--------|--------------|-----------|
| 営業収益     | 2,588  | 675          | +46       |
| 営業費用     | ▲1,916 | ▲502         | ▲18       |
| うち貸倒費用   | ▲546   | ▲188         | ▲13       |
| 経常利益     | 674    | 173          | +28       |
| 親会社株主純利益 | 1,114  | 135          | +4        |

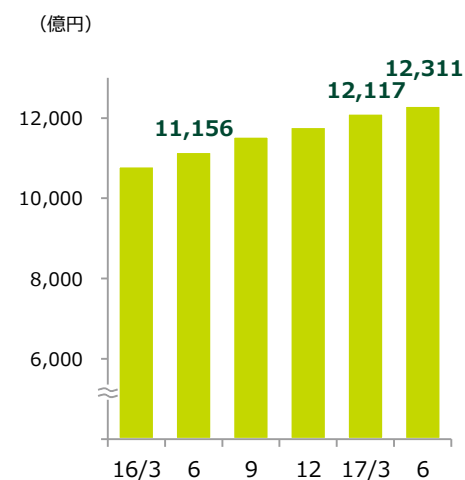
|           |        |        |                                              |
|-----------|--------|--------|----------------------------------------------|
| 営業貸付金残高   | 10,746 | 10,896 | 17年度からの<br>連結納税制度<br>導入に伴う<br>税効果<br>+約500億円 |
| 利息返還損失引当金 | 1,216  | 1,069  |                                              |
| 保証残高      | 12,117 | 12,311 | 保証事業<br>提携先数<br>(17/6月)<br>189社              |
| うち地方銀行等向け | 5,618  | 5,808  |                                              |

## 金融・保証・海外事業

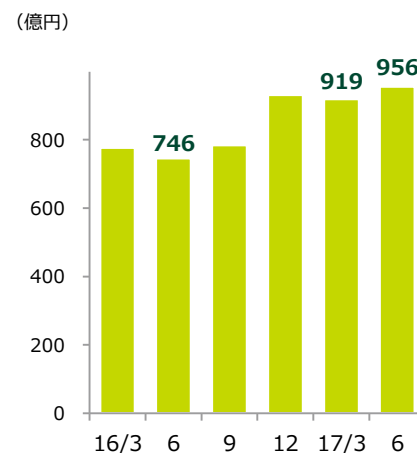
### 営業貸付金残高



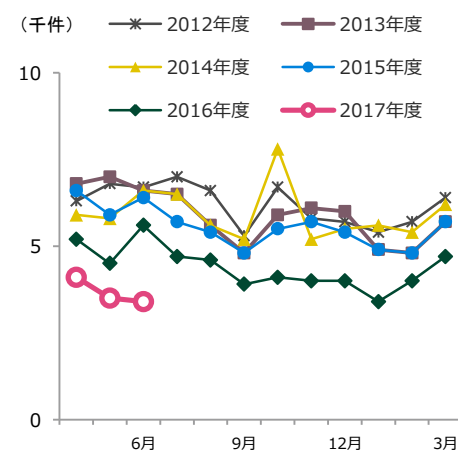
### 保証残高



### 営業貸付金残高（海外）\*



### 利息返還請求件数



\* 現地通貨建を円換算

# 2016年度業績サマリー

## P/L

| (億円) |          | 16年度    | 前年比    | 16/11月<br>目標比 |
|------|----------|---------|--------|---------------|
| 連結   | 連結粗利益    | 29,207  | +168   | +157          |
|      | 営業経費     | ▲18,124 | ▲876   |               |
|      | 持分法投資損益  | 246     | +607   |               |
|      | 連結業務純益*1 | 11,329  | ▲101   |               |
|      | 与信関係費用   | ▲1,644  | ▲616   | △156          |
|      | 株式等損益    | 550     | ▲140   |               |
|      | その他      | ▲176    | +1,062 |               |
|      | 経常利益     | 10,059  | +206   | +459          |
|      | 特別損益     | ▲266    | ▲214   |               |
|      | 税コスト*2   | ▲1,710  | △541   |               |
|      | 親会社株主純利益 | 7,065   | +598   | +65           |
| 単体   | 業務粗利益    | 16,637  | +1,294 | +237          |
|      | 経費*3     | ▲8,169  | ▲115   | ▲19           |
|      | 業務純益*1   | 8,467   | +1,179 | +217          |
|      | 与信関係費用   | ▲611    | ▲643   | ▲111          |
|      | 株式等損益    | 1,151   | +797   |               |
|      | 経常利益     | 8,640   | +1,161 | +1,150        |
|      | 当期純利益    | 6,818   | +726   | +818          |

- 連結粗利益** : マイナス金利の影響があった一方、SMBC日興の増益や、SMFLキャピタルの新規連結影響等から増益
- 営業経費** : 経費コントロールの強化に取り組んだ一方、海外ビジネス強化や過年度のシステム投資の影響等から増加
- 持分法投資損益** : 前年度に発生したBTPNに係るのれん減損の反動等から増益
- 与信関係費用** : SMBCにおいて、大口先の業況悪化に伴うコスト発生等から増加
- 株式等損益** : 政策保有株式の売却損益は約600億円（2016年度の削減実績は約1,000億円）
- その他** : 前年度にSMBCCFで実施した利息返還損失引当金繰入の反動等から増益
- 特別損益** : SMBCフレンドののれん減損（▲430億円）、SMAM子会社化に伴う段階取得益（+293億円）を含む
- 税コスト** : 連結納税制度導入に伴う税効果（1,000億円程度）を含む

## SMBC以外の主要グループ会社の親会社株主純利益寄与\*4

| (億円)     |       |        | (億円)     |      |     |
|----------|-------|--------|----------|------|-----|
|          | 16年度  | 前年比    |          | 16年度 | 前年比 |
| SMBCCF   | 1,110 | +1,760 | SMCC     | 160  | ▲10 |
| SMBC日興*5 | 450   | +80    | SMBCフルト* | 10   | ▲30 |
| SMFL     | 300   | +30    | SMBC信託   | ▲40  | +70 |
| セディナ     | 220   | +140   | 東亜銀行     | 110  | ▲30 |

\*1 一般貸倒引当金繰入前 \*2 法人税・住民税・事業税、及び法人税等調整額 \*3 臨時処理分を除く \*4 概数

\*5 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含まない

## 役務取引等利益

| (億円)                        | 15年度   | 16年度   | 前年比  |
|-----------------------------|--------|--------|------|
| <b>連結</b><br>(SMBC以外の内訳は概数) | 10,038 | 10,133 | +95  |
| 〆 SMBC                      | 3,586  | 3,489  | ▲97  |
| SMCC                        | 1,900  | 2,030  | +130 |
| SMBC日興                      | 1,650  | 1,760  | +110 |
| セディナ                        | 1,160  | 1,170  | +0   |
| SMBCCF                      | 590    | 660    | +70  |
| SMBCフレンド                    | 270    | 200    | ▲70  |

## (参考) マーケティング部門の粗利益 (単体) 内訳\*1

| (億円)                     | 15年度          | 16年度          | 前年比*2      |
|--------------------------|---------------|---------------|------------|
| シンジケーション                 | 456           | 487           | +42        |
| ストラクチャードファイナンス           | 265           | 352           | +76        |
| アセットファイナンス*3             | 167           | 195           | +27        |
| デリバティブ販売                 | 264           | 220           | ▲54        |
| 国内法人ビジネス関連               | 1,152         | 1,254         | +91        |
| 投資信託                     | 257           | 200           | ▲56        |
| 個人年金                     | 109           | 47            | ▲62        |
| 一時払終身保険                  | 203           | 45            | ▲158       |
| 平準払保険                    | 69            | 63            | ▲6         |
| 国内個人ビジネス関連               | 638           | 355           | ▲282       |
| うち振込・E B                 | 926           | 933           | +3         |
| うち外為収益                   | 522           | 532           | +13        |
| 国内非金利収益                  | 3,160         | 3,177         | +43        |
| うちローン関連手数料               | 727           | 725           | +53        |
| 国際部門非金利収益                | 1,306         | 1,329         | +68        |
| 非金利収益                    | 4,466         | 4,506         | +111       |
| うち国内貸出金収益                | 4,212         | 4,200         | ▲121       |
| うち国内円預金収益                | 987           | 648           | ▲29        |
| うち国際部門金利関連収益             | 2,254         | 1,946         | ▲41        |
| 金利収益                     | 8,275         | 7,606         | ▲178       |
| <b>マーケティング部門粗利益 (単体)</b> | <b>12,741</b> | <b>12,112</b> | <b>▲67</b> |

\*1 内部管理ベース \*2 金利・為替影響等調整後ベース \*3 不動産ファイナンス、金銭債権流動化等

# 国債等債券損益

## 単体

### 国債等債券損益

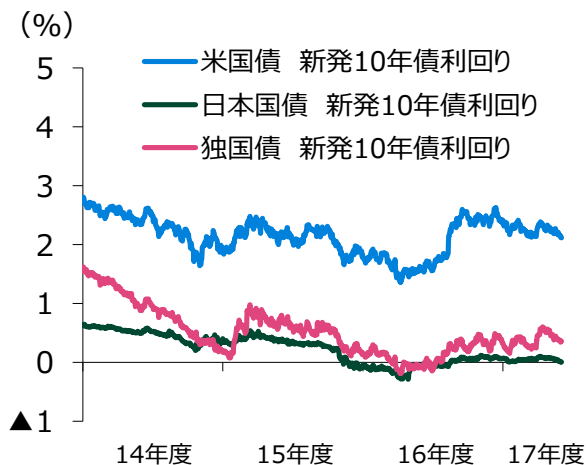
| (億円)    | 15年度 | 16年度 | 前年比  |
|---------|------|------|------|
| 国債等債券損益 | 540  | 437  | ▲103 |
| 国内業務部門  | 34   | 182  | +148 |
| 国際業務部門  | 506  | 255  | ▲251 |

### 市場営業部門粗利益

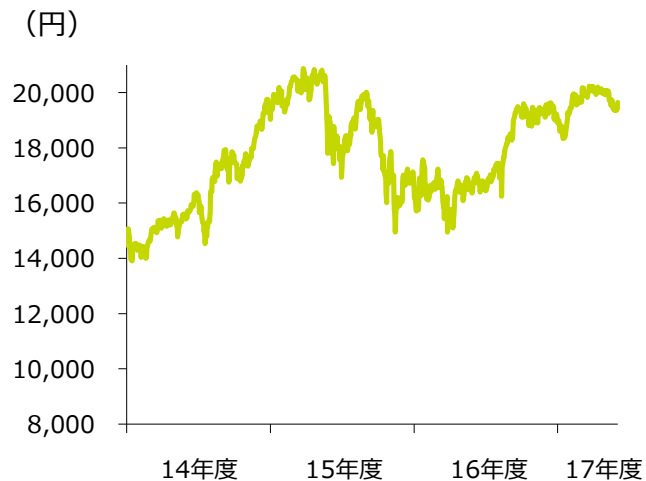
| (億円)      | 15年度  | 16年度  | 前年比  |
|-----------|-------|-------|------|
| 市場営業部門粗利益 | 2,936 | 2,724 | ▲212 |

## 金利・株価・為替

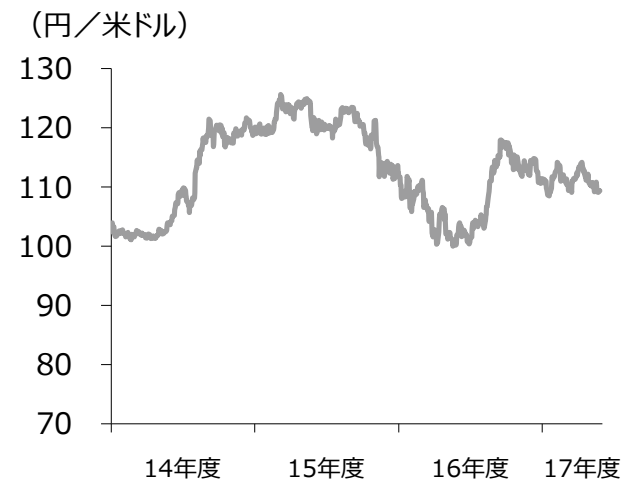
### 日本国債、米国債、独国債利回り



### 日経平均株価



### 為替レート (円/米ドル)



# 経費

## 連結

| (億円) | 16年度    | 前年比   |
|------|---------|-------|
| 経費   | ▲18,124 | ▲876  |
| 経費率  | 62.1%   | ▲2.7% |

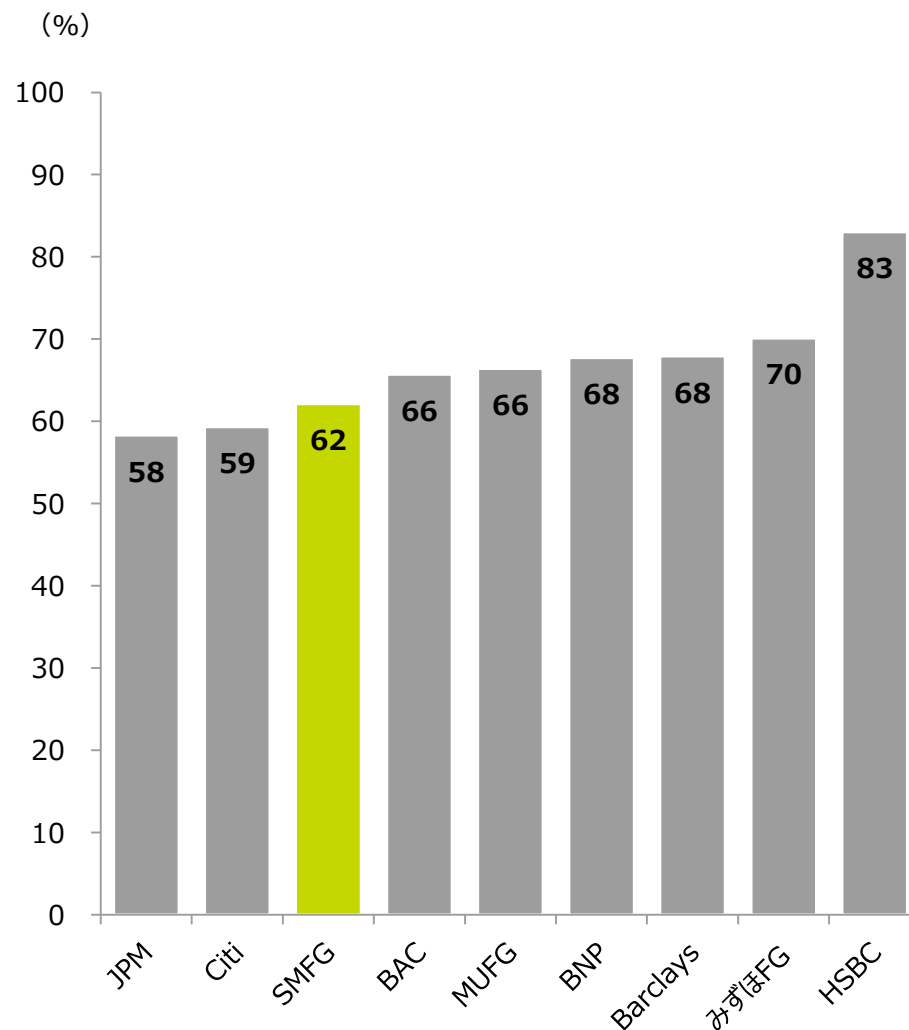
## 主な内訳 (SMBC以外は概数)

| (億円)     | 16年度   | 前年比  |
|----------|--------|------|
| SMBC*1   | ▲8,169 | ▲115 |
| SMBC日興   | ▲2,510 | ▲90  |
| SMCC     | ▲1,730 | ▲160 |
| セディナ     | ▲1,270 | ▲20  |
| SMBCCF   | ▲1,050 | △0   |
| SMFL     | ▲840   | ▲210 |
| SMBC信託   | ▲510   | ▲250 |
| SMBCフレンド | ▲370   | △10  |

16/4月 新規連結  
(SMFLキャピタル)

15/11月 新規連結  
(PRESTIA)

## 連結経費率の国内外主要行比較\*2

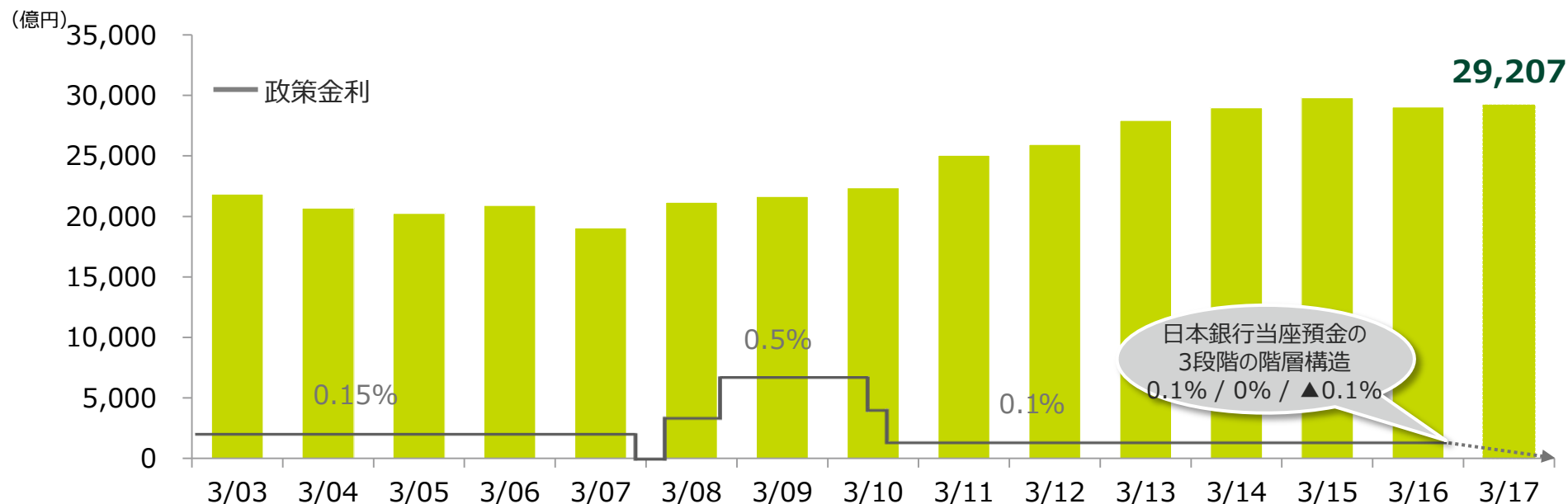


\*1 臨時処理分を除く

\*2 各社公表データに基づき、営業経費（邦銀は傘下銀行の臨時処理分を含む）をトップライン収益（保険契約に基づく保険金及び給付金純額を除く）で除したもの。  
SMFG、MUFG、みずほFGは2016年度実績、その他は2016年1-12月実績

## 収益源の多様化

### 連結粗利益



### 連結粗利益に占める割合

|                          | 02年度 |                                 | 16年度 |
|--------------------------|------|---------------------------------|------|
| 国内貸出金・<br>預金関連収益<br>(単体) | 35%  | 連結業務純益に占める<br>国際事業部門の割合：<br>32% | 17%  |
| 海外ビジネス<br>(銀行業)          | 5%   |                                 | 16%  |
| グループ会社                   | 18%  |                                 | 38%  |

# マイナス金利政策への対応

## 預金残高のコントロール

- 円預金の金利引下げ
  - 普通預金 0.001% (16/2/16~)
  - 定期預金 0.01% (16/3/1~)
- 法人（特に金融機関）の大口預金流入への対応
  - 外国銀行のコルレス口座への手数料賦課

## 貯蓄から資産形成へのシフトを促進

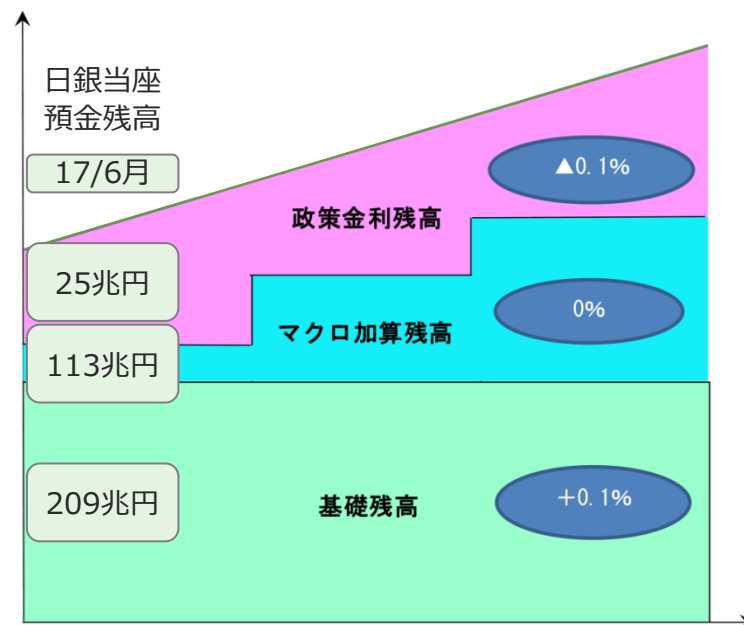
- 外貨預金の金利引上げ、キャンペーン
- ファンドラップやローリスク・ローリターンの運用商品の販売強化

## 収益源の更なる多様化 預貸金利鞘確保の取組み

- 手数料ビジネスの強化
- 銀行以外のビジネスの強化
- ソリューションを伴う高付加価値貸金への取組

## 日本銀行によるマイナス金利政策

- 「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入 (16/2月) <sup>\*1</sup>



- 「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」導入 (16/9月) <sup>\*2</sup>
  - イールドカーブ・コントロール
  - オーバーシュート型コミットメント

<sup>\*1</sup> 出典：日本銀行「本日の決定のポイント」(2016年1月29日)。日銀当座預金残高は日本銀行「業態別の日銀当座預金残高(2017年6月)」(2017年7月18日)より

<sup>\*2</sup> 出典：日本銀行「金融緩和強化のための新しい枠組み：「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」」(2016年9月21日)



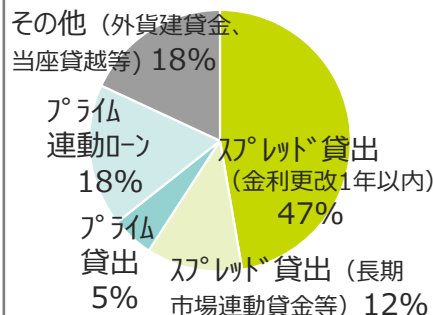
# バランスシート

## 単体

- 日銀当座預金残高  
17/3月末 36.2兆円  
16年度平均 31.4兆円

## 単体

- 国内貸出金残高 54.5兆円



- 国内顧客セグメント別\*1

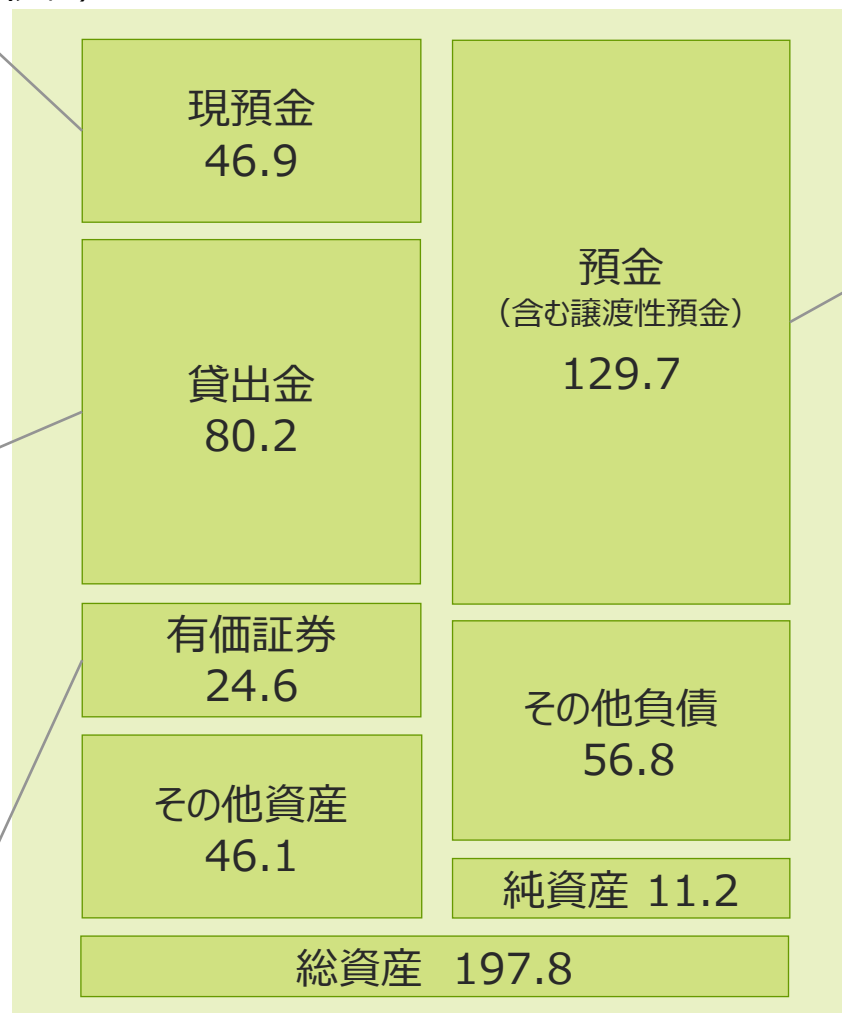
| (兆円、末残)   | 17/3月末 | 16/3月末比 |
|-----------|--------|---------|
| 大企業*2     | 15.6   | +1.4    |
| 中堅・中小企業*3 | 17.6   | +0.4    |
| 個人        | 14.0   | +0.1*4  |

## 連結

- うち株式\*5 3.8兆円
- うち国債\*5 7.3兆円
- うち外国債券\*5 7.1兆円

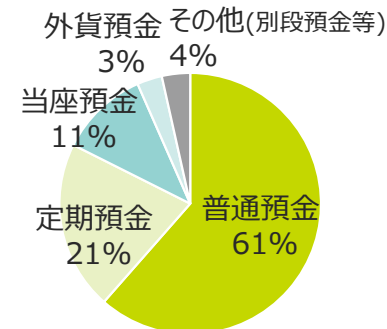
## 連結B/S (2017/3月末)

(兆円)



## 単体

- 国内預金残高 87.7兆円



- (参考) 顧客別推移

| (兆円) | 15/9 | 16/3 | 16/9 | 17/3 |
|------|------|------|------|------|
| 国内預金 | 77.3 | 82.1 | 83.4 | 87.7 |
| 個人   | 41.9 | 42.3 | 42.7 | 43.6 |
| 法人   | 35.3 | 39.8 | 40.7 | 44.1 |

## (参考) 外貨B/S\*6

(10億米ドル)

|               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 貸出金等*7<br>275 | 顧客性預金（含む中銀預金）<br>203    |
| その他*8 85      | 中長期調達（社債、通貨スワップ等）<br>90 |
| 外債、NCD 39     | CD・CP 60                |
|               | インターバンク（含レボ） 41         |

資産・負債 399

\*1 内部管理ベース \*2 GCB本部 \*3 CB本部、エリア企業本部の合算 \*4 住宅ローン証券化分（16年度：約3,200億円）の加算調整後 \*5 その他有価証券

\*6 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 \*7 マーケティング部門における貸出金・貿易手形・有価証券の合計 \*8 中央銀行預け金等を含む

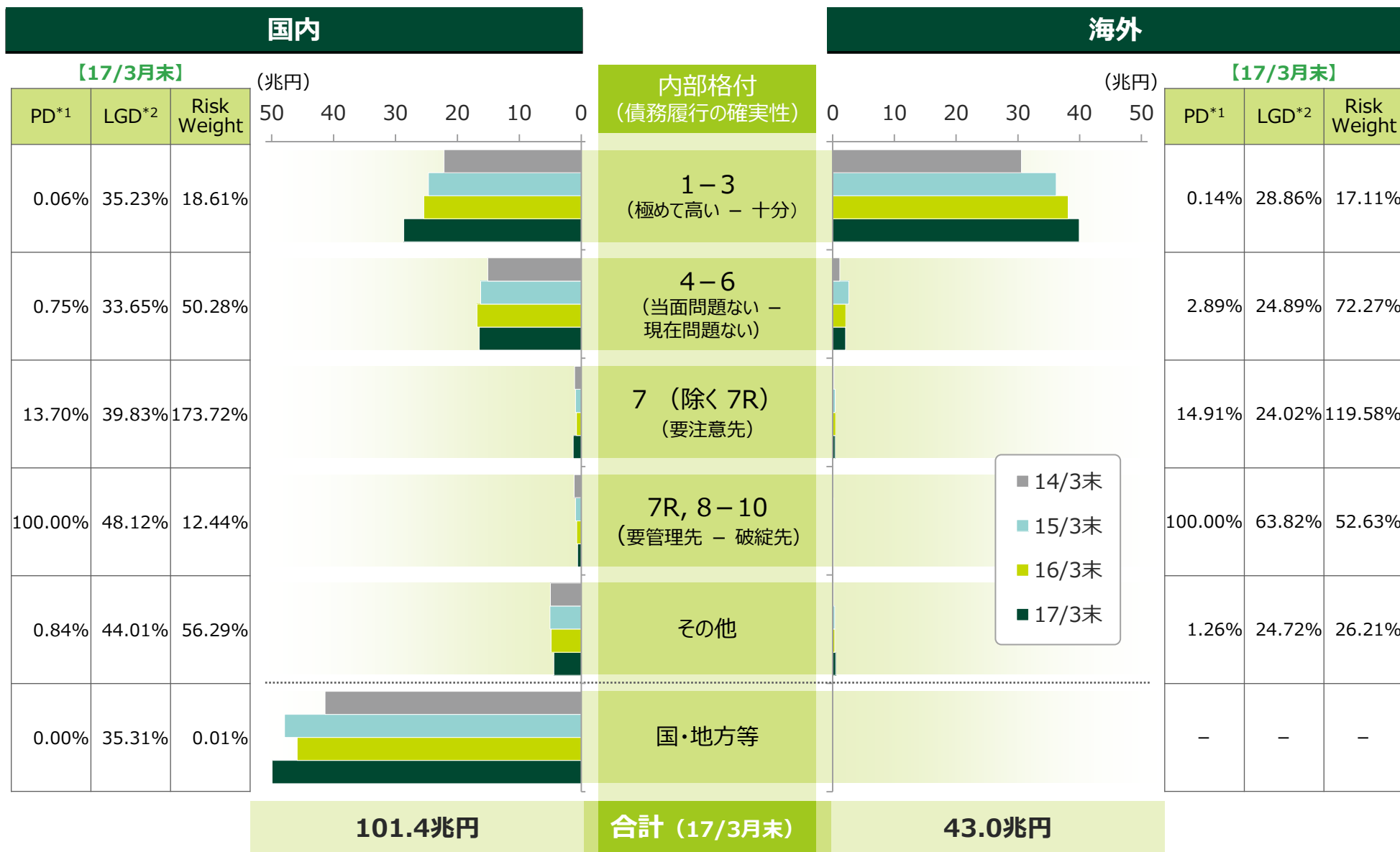


# 債券ポートフォリオ

|      |                 | 13/3月末 |      | 16/3月末 |      | 17/3月末 |       | 17/6月末 |       |
|------|-----------------|--------|------|--------|------|--------|-------|--------|-------|
|      |                 | B/S計上額 | 評価損益 | B/S計上額 | 評価損益 | B/S計上額 | 評価損益  | B/S計上額 | 評価損益  |
| (兆円) |                 |        |      |        |      |        |       |        |       |
| 連結   | 円債              | 30.4   | 0.17 | 13.2   | 0.13 | 11.4   | 0.07  | 13.3   | 0.04  |
|      | うち 国債           | 27.0   | 0.12 | 10.3   | 0.08 | 8.5    | 0.03  | 10.5   | 0.01  |
|      | 満期保有目的          | 5.5    | 0.06 | 2.2    | 0.02 | 1.2    | 0.01  | 1.0    | 0.00  |
|      | その他<br>有価証券     | 21.5   | 0.06 | 8.1    | 0.06 | 7.3    | 0.02  | 9.5    | 0.01  |
|      | 外債<br>(その他有価証券) |        |      | 6.5    | 0.03 | 7.1    | ▲0.11 | 6.5    | ▲0.10 |

|    |                 |      |      |      |      |      |       |      |       |
|----|-----------------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| 単体 | 円債              | 28.9 | 0.16 | 12.3 | 0.12 | 10.6 | 0.06  | 12.6 | 0.04  |
|    | うち 国債           | 26.2 | 0.11 | 9.8  | 0.07 | 8.0  | 0.03  | 10.0 | 0.01  |
|    | 満期保有目的          | 5.5  | 0.06 | 2.0  | 0.01 | 0.9  | 0.01  | 0.7  | 0.00  |
|    | その他<br>有価証券     | 20.7 | 0.06 | 7.8  | 0.06 | 7.1  | 0.02  | 9.3  | 0.01  |
|    | 外債<br>(その他有価証券) |      |      | 5.2  | 0.02 | 5.6  | ▲0.10 | 5.0  | ▲0.09 |

# 事業法人、ソブリン、金融機関等向けエクスポージャー



\*1 Probability of Defaultの略。一年の間に債務者がデフォルトする確率

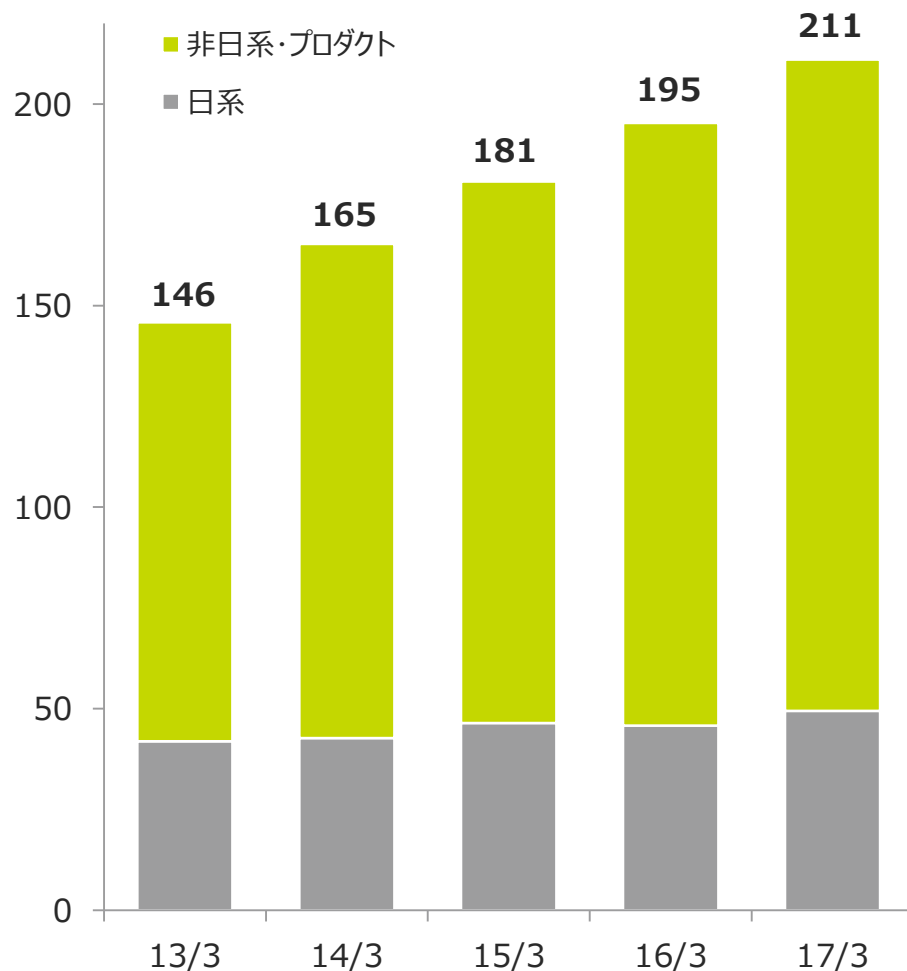
\*2 Loss Given Default の略。債務者がデフォルトした場合に想定される損失率。デフォルト時の債権額に対する回収不能額の割合

(連結)

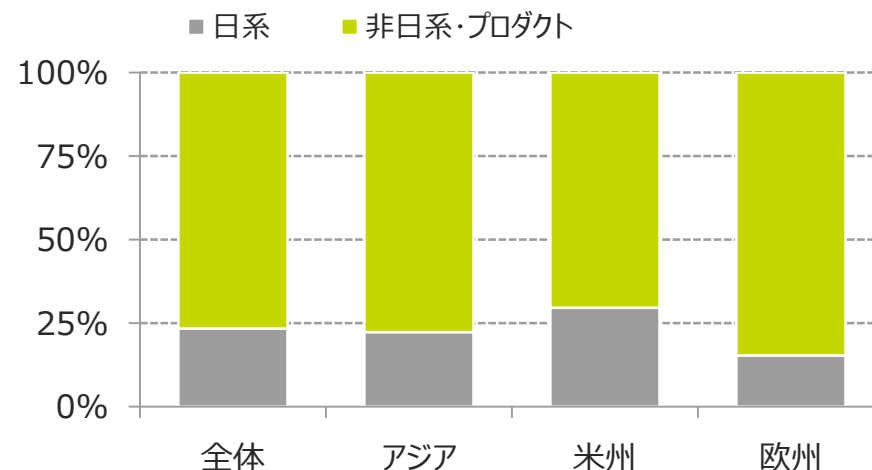
# 海外貸出金の顧客別構成（拠点ベース）

## 全体\*1

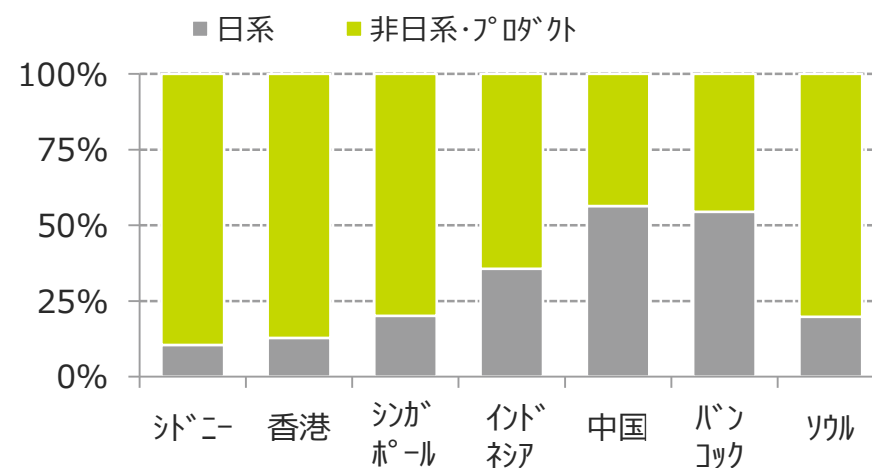
（10億米ドル）



## 地域別(17/3月末)\*1



## アジア主要拠点(17/3月末)\*1, 2

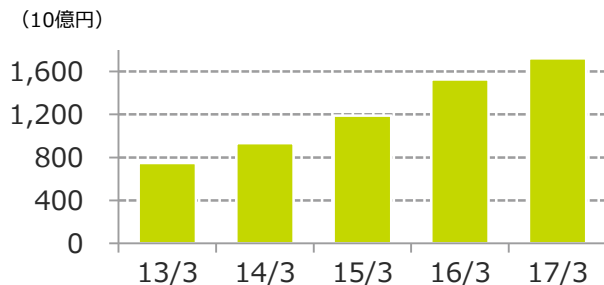


\*1 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行（中国）の合算。15/3月末以降は貿易手形を含むベース

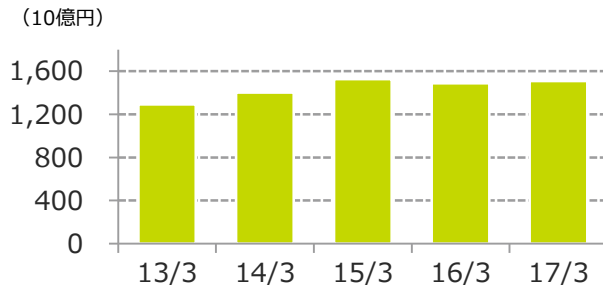
\*2 インドネシアの顧客別構成は、SMBC、インドネシア三井住友銀行の合算

# アジアの主要国・地域別貸出金残高（債務者所在国ベース）\*

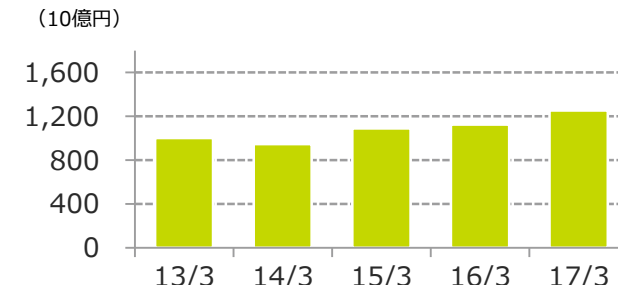
## オーストラリア



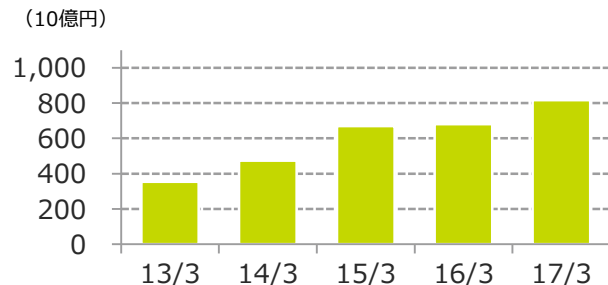
## 香港



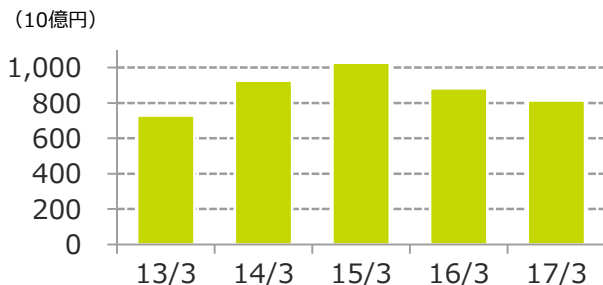
## シンガポール



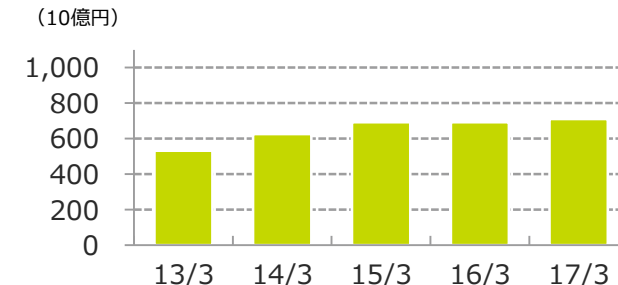
## インドネシア



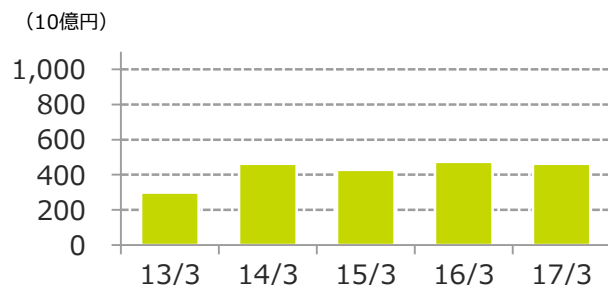
## 中国



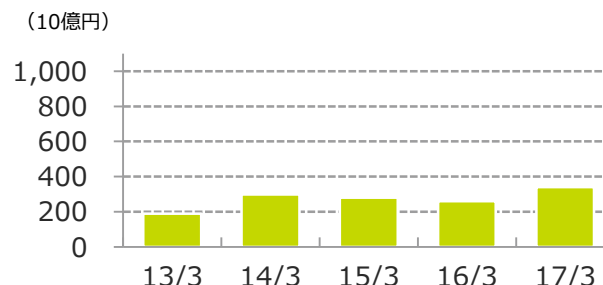
## タイ



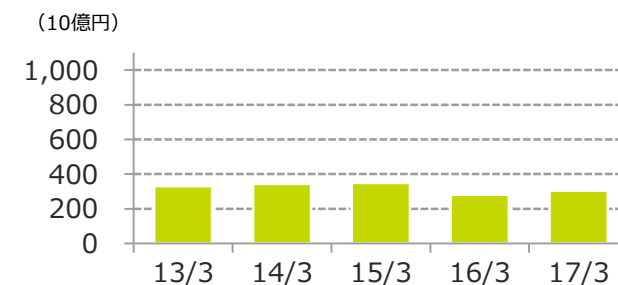
## インド



## 台湾



## 韓国



\* 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行（中国）、インドネシア三井住友銀行の合算。各期末残高は、17/3月末の期末為替仲値で割戻して表記

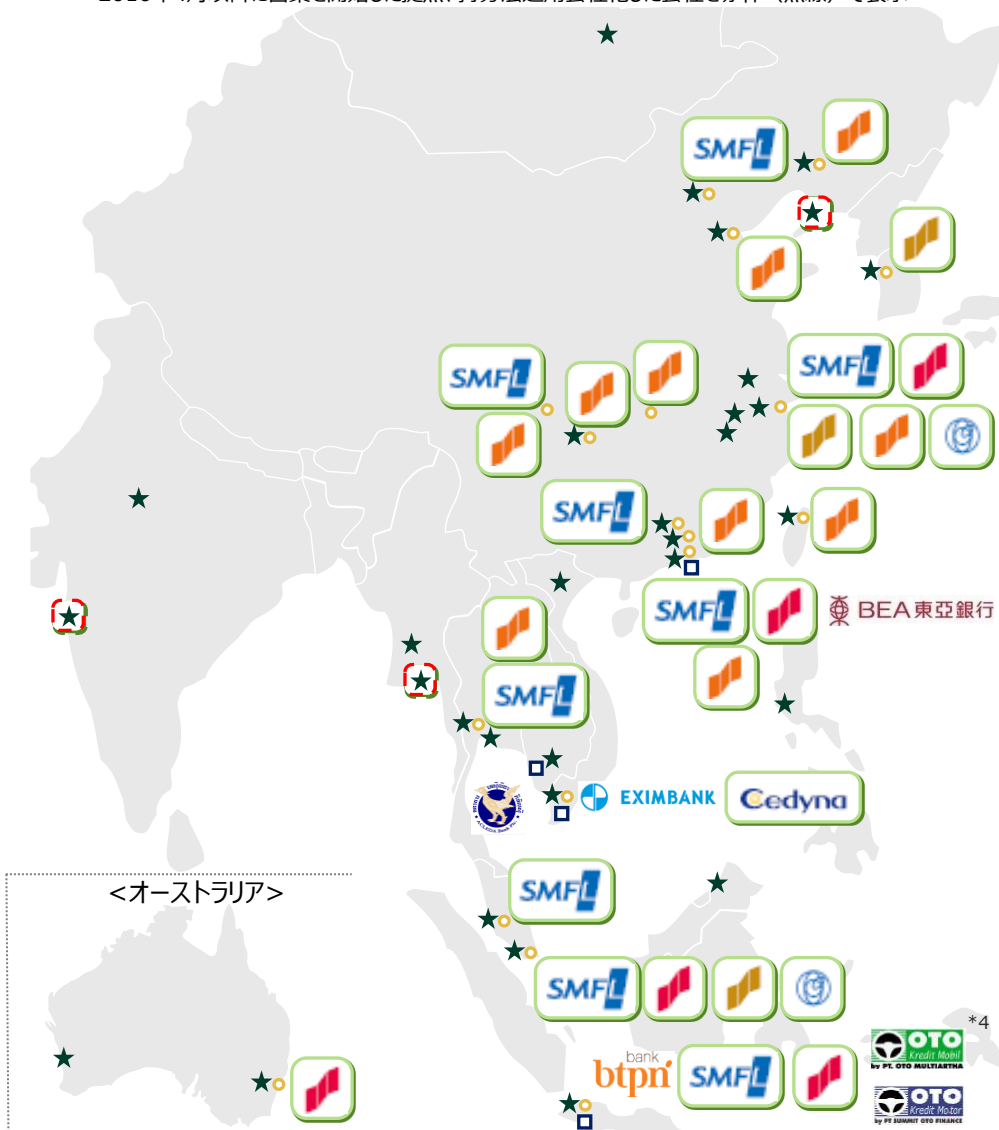
# SMFGのアジア展開

★：銀行業務を行う拠点（持分法適用会社を除く）

○：銀行業以外のSMFG連結子会社の拠点

□：持分法適用会社

2016年4月以降に営業を開始した拠点、持分法適用会社化した会社を赤枠（点線）で表示



|                           |                 |                                                                                                      |                                                                                                          |
|---------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>三井住友銀行</b>             | 銀行業             | (アジア・オセアニア)<br>14ヶ国・地域、41拠点*1                                                                        |                                                                                                          |
| <b>三井住友ファイナンス&amp;リース</b> | リース業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>北京</li> <li>上海</li> <li>成都</li> <li>広州</li> <li>香港</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>バンコック</li> <li>クアラルンプール</li> <li>シンガポール</li> <li>ジャカルタ</li> </ul> |
| <b>SMBC日興証券</b>           | 証券業             | <ul style="list-style-type: none"> <li>香港</li> <li>シドニー</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>シンガポール</li> <li>ジャカルタ</li> </ul>                                  |
|                           | M&Aアドバイザー<br>関連 | <ul style="list-style-type: none"> <li>上海</li> <li>香港</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>シンガポール</li> <li>ジャカルタ</li> </ul>                                  |
| <b>三井住友カード</b>            | プリペイドカード事業      | ソウル*2                                                                                                |                                                                                                          |
|                           | コンサルティング        | 上海                                                                                                   |                                                                                                          |
|                           | 市場調査            | シンガポール                                                                                               |                                                                                                          |
| <b>Cedyna</b>             | オートローン事業        | ホーチミン*3                                                                                              |                                                                                                          |
| <b>SMBCコンシューマーファイナンス</b>  | 消費者金融           | <ul style="list-style-type: none"> <li>香港</li> <li>深圳</li> <li>瀋陽</li> <li>天津</li> <li>重慶</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>成都</li> <li>武漢</li> <li>上海</li> <li>バンコック</li> </ul>              |
|                           | 債権回収            | 台北                                                                                                   |                                                                                                          |
| <b>日本総研</b>               | コンサルティング        | 上海                                                                                                   |                                                                                                          |
|                           | システム開発・保守       | <ul style="list-style-type: none"> <li>上海</li> <li>シンガポール</li> </ul>                                 |                                                                                                          |

\*1 2017年4月30日現在。SMBCの他に、銀行業務を行うSMBCの子会社及び持分法適用会社を含む（但し、閉鎖予定の拠点は除く）

\*2 ハナSKカードと提携し、日本からの韓国渡航者向けプリペイドカードを発行（2012年11月～） \*3 ベトナムエグジムバンクと業務提携、オートローン事業の取扱拡大（2013年5月～）

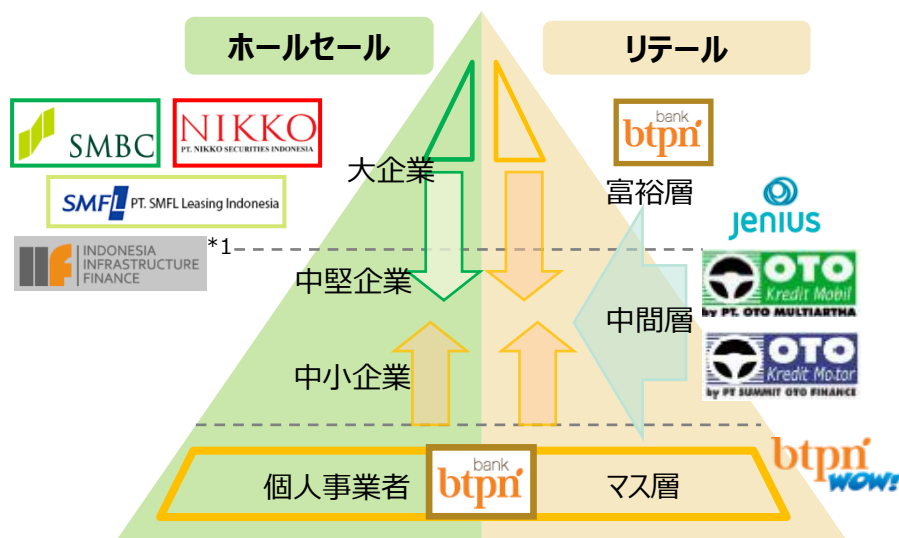
\*4 2016年3月、OTO/SOFを持分法適用会社化

# インドネシア戦略（マルチフランチャイズ戦略）

インドネシアにおけるグループ各社間の協働を加速  
アジアリテールイノベーション室をシンガポールに設置し、デジタルバンキングを推進

## フルバンキングの基盤拡充

- BTPN (Bank Tabungan Pensiunan Nasional)
  - マス層向モバイルバンキングBTPN Wow!の顧客数は約4百万人（2017年6月末）に到達
  - 2016年8月、富裕層/中間層向デジタルバンキング Jeniusのサービス開始、2017年6月末時点で約30万顧客獲得
- OTO/SOF（四輪、二輪車の販売金融）
  - SMBCから取締役1名（OTO）及び非常勤監査役1名（OTO/SOF兼務）を派遣



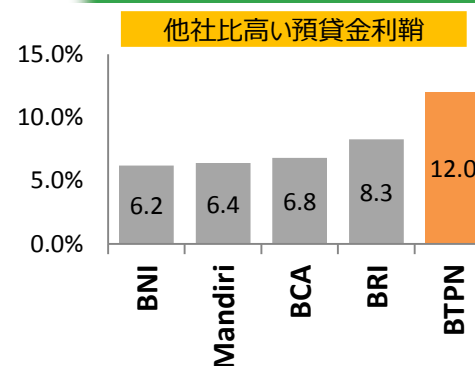
\*1 インドネシア政府系金融会社、インドネシアインフラストラクチャーファイナンス  
\*2 各月末TTM 15/12月末：0.0088円/IDR、16/12月末：0.0087円/IDR  
\*3 各社公表データ（2016年12月実績）に基づく

## BTPN 業績<sup>\*2</sup>

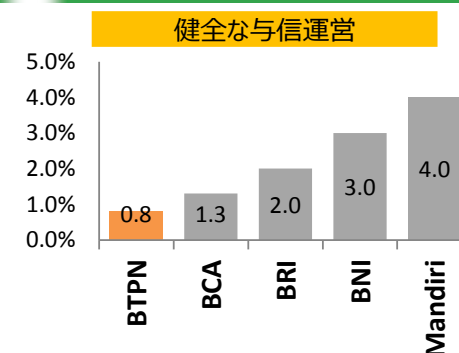
| (10億IDR) | 2015   | 2016   | 前年比  |
|----------|--------|--------|------|
| 業務粗利益    | 8,401  | 9,464  | +13% |
| 経費       | ▲5,156 | ▲5,984 | +16% |
| 純利益      | 1,702  | 1,752  | +3%* |
| ROE      | 13.3%  | 11.7%  | -    |
| 貸出金      | 58,587 | 63,168 | +8%  |
| 顧客預金     | 60,273 | 66,202 | +10% |
| 総資産      | 81,040 | 91,371 | +13% |

\* デジタルバンキング事業の先行費用を除いた既存事業の純利益は前年比19%増加

## 預貸金利鞘<sup>\*3</sup>



## 不良債権比率<sup>\*3</sup>





## 海外で強みを持つプロダクト

### 航空機関連ビジネス

- SMBC Aviation Capital (SMBC AC) を中心に、グループ一体となった国内外航空機投資家宛ソリューション営業、エアライン宛リースの組成

#### SMBC Aviation Capital の実績 / 機体数ランキング\*1

| (百万米ドル) | 16年度   | 15年度   |
|---------|--------|--------|
| 総収入*2   | 1,086  | 993    |
| 当期純利益   | 298    | 199    |
| 航空機資産   | 10,963 | 10,515 |
| 純資産     | 1,967  | 1,627  |

| 航空機リース会社 |                         | 国             | 機体数        |
|----------|-------------------------|---------------|------------|
| 1        | GECAS                   | 米国            | 1,441      |
| 2        | AerCap                  | オランダ          | 1,160      |
| 3        | Avolon                  | アイルランド        | 626*3      |
| 4        | <b>SMBC AC</b>          | <b>アイルランド</b> | <b>452</b> |
| 5        | Nordic Aviation Capital | デンマーク         | 374        |

\*1 2016年12月31日時点 (出所: Ascend/Airline Business誌) における保有・管理機体数

\*2 リース料収入 + 航空機売却損益等 (リース満期調整額を控除) \*3 2017年4月に買収したCIT Aerospaceの機体数を加算

### 貨車リース

- SMBC Rail Services (米国・全額出資連結子会社)
- 米国中堅処、リース資産1,647百万ドル (2016/12末)
- 当社事業の強み
  - 車種別に分散したポートフォリオ運営
  - 車齢の若さ
  - 業種分散の効いた顧客基盤
- American Railcar Leasing (ARL)の買収完了
- SMBC Rail Servicesが全米第6位の貨車リース会社であるARLの全持分の取得を完了
- 総資産: 約22億米ドル (約34,000両)
- 取得価格は貨車リース資産の第三者鑑定評価を下回り、買収に伴うSMFGの普通株式等Tier1比率への影響は軽微

### サブスクリプション・ファイナンス、欧米ミドルマーケット

- ファンド投資家の出資コミットメントを拠り所にしたファンド宛与信
  - 与信残高: 約210億ドル、スプレッド: 約150bp (17/3月)
- 中堅企業向けスポンサーファイナンス、LBOローン
  - 海外貸出の約2%。案件を厳選して取組み

## 資源セクター関連エクスポージャー\*1

|  |                 |               | (兆円) | 16/3月末 | 総与信対比  | 17/3月末 | 総与信対比  | 17/6月末 | 総与信対比  |
|--|-----------------|---------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|  |                 | 総合石油・ガス*2     |      | 1.5    | 1.3%   | 1.3    | 1.1%   | 1.5    | 1.2%   |
|  |                 | サービス（掘削、サービス） |      | 0.5    | 0.4%   | 0.4    | 0.4%   | 0.5    | 0.4%   |
|  |                 | 上流（開発（E&P*3）） |      | 1.7    | 1.4%   | 1.5    | 1.2%   | 1.5    | 1.3%   |
|  |                 | 中流（貯蔵・輸送）     |      | 1.4    | 1.2%   | 1.4    | 1.1%   | 1.4    | 1.1%   |
|  |                 | 下流（精製販売）      |      | 0.7    | 0.6%   | 0.9    | 0.7%   | 0.8    | 0.7%   |
|  | 石油・ガス           |               |      | 5.8    | 5.0%   | 5.5    | 4.4%   | 5.7    | 4.6%   |
|  | その他資源（鉱業）       |               |      | 1.1    | 1.0%   | 0.9    | 0.8%   | 1.0    | 0.8%   |
|  | 非日系*4（資源セクター関連） |               |      | 6.9    | 6.0%   | 6.4    | 5.2%   | 6.6    | 5.4%   |
|  |                 | うち上流          |      | 0.2    | 0.2%   | 0.2    | 0.2%   | 0.2    | 0.1%   |
|  |                 | 石油・ガス         |      | 1.6    | 1.4%   | 1.3    | 1.1%   | 1.3    | 1.1%   |
|  |                 | その他資源（鉱業）     |      | 0.2    | 0.2%   | 0.2    | 0.2%   | 0.2    | 0.2%   |
|  |                 | 日系（資源セクター関連）  |      | 1.8    | 1.6%   | 1.5    | 1.2%   | 1.6    | 1.3%   |
|  | 資源セクター関連合計      |               |      | 8.8    | 7.6%   | 7.9    | 6.4%   | 8.2    | 6.7%   |
|  | 石油・ガス合計         |               |      | 7.4    | 6.4%   | 6.8    | 5.5%   | 7.0    | 5.7%   |
|  | その他資源（鉱業）合計     |               |      | 1.3    | 1.1%   | 1.1    | 0.9%   | 1.2    | 1.0%   |
|  | 非日系*4           |               |      | 38     | 32.9%  | 41     | 33.5%  | 42     | 34.2%  |
|  | 日系              |               |      | 77     | 67.1%  | 82     | 66.5%  | 81     | 65.8%  |
|  | 連結総与信           |               |      | 115    | 100.0% | 123    | 100.0% | 123    | 100.0% |

- 石油・ガスに石油化学、日系のその他資源に総合商社を含まない
- 非日系（資源セクター関連）：コーポレートファイナンス 約70%、プロジェクトファイナンス 約30%
- 日系（資源セクター関連）：コーポレートファイナンス100%。不良債権なし
- 資源価格変動の影響を受けないプロジェクトファイナンスを除いた17/6月末の資源セクター関連合計は7.0兆円、同EADは6.2兆円

\*1 貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等 \*2 オイルメジャー、国営石油会社等 \*3 Exploration & Production

\*4 ドル建エクスポージャーを各月末TTMで円換算（16/3月末112.62円/ドル、17/3月末112.19円/ドル、17/6月末111.96円/ドル）

## 非日系石油・ガス・その他資源関連エクスポージャーの内訳（17/6月末）

| (億ドル)                                   | ①<br>エク<br>スポージャー | 格付「1-3」<br>の割合 | ②<br>引出残高 | 格付「1-3」<br>の割合 | ③<br>不良債権*1,2 | ④<br>引出残高<br>対比<br>③/② | ⑤<br>貸倒引当金 | ⑥<br>担保・<br>保証等 | ⑦<br>保全率<br>(⑤+⑥) / ③ |
|-----------------------------------------|-------------------|----------------|-----------|----------------|---------------|------------------------|------------|-----------------|-----------------------|
|                                         |                   |                |           |                |               |                        |            |                 |                       |
| アジア                                     | 169               | 88%            | 145       | 89%            | 0.72          | 0.5%                   | 0.19       | -               | 26%                   |
| 米州                                      | 201               | 78%            | 70        | 75%            | 3.48          | 5.0%                   | 0.49       | 2.25            | 79%                   |
| EMEA                                    | 223               | 85%            | 106       | 79%            | 4.06          | 3.8%                   | 1.00       | 1.95            | 73%                   |
| 合計                                      | 593               | 84%            | 320       | 83%            | 8.26          | 2.6%                   | 1.68       | 4.20            | 71%                   |
| 石油・ガス                                   | 505               | 84%            | 283       | 84%            | 5.19          | 1.8%                   | 0.77       | 2.87            | 70%                   |
| 総合石油・ガス<br>（オイルメジャー、国営石油会社等）            | 133               | 97%            | 76        | 97%            | -             | -                      | -          | -               | -                     |
| サービス<br>（掘削、サービス）                       | 40                | 47%            | 20        | 31%            | 2.44          | 12.5%                  | 0.69       | 1.05            | 71%                   |
| 上流<br>（開発（Exploration &<br>Production）） | 137               | 75%            | 85        | 79%            | 2.17          | 2.6%                   | 0.08       | 1.82            | 88%                   |
| 中流<br>（貯蔵・輸送）                           | 120               | 89%            | 51        | 89%            | 0.58          | 1.1%                   | 0.01       | -               | 1%                    |
| 下流<br>（精製販売）                            | 75                | 89%            | 51        | 88%            | -             | -                      | -          | -               | -                     |
| その他資源（鉱業）                               | 88                | 83%            | 38        | 72%            | 3.07          | 8.2%                   | 0.91       | 1.33            | 73%                   |

● 石油・ガス : コーポレートファイナンス 約70%、プロジェクトファイナンス 約30%

● その他資源（鉱業） : コーポレートファイナンス 約85%、プロジェクトファイナンス 約15%

\*1 正常債権以外の金融再生法開示債権

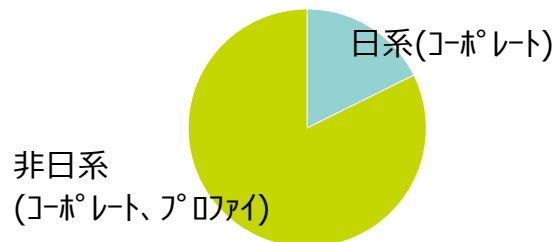
\*2 その他要注意先は石油・ガスを中心に、アジア：約2億ドル、米州：約17億ドル、EMEA：約8億ドル

# 英国、中国、ロシア向け貸出／エクスポージャー

## 英国向け貸出\*1, 2, 3

(兆円)

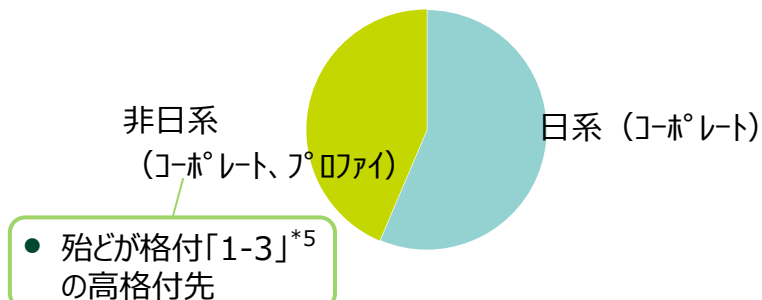
| 16/3月末 | 17/3月末 |
|--------|--------|
| 1.5    | 1.4    |



## 中国向け貸出\*1, 2, 3, 4

(兆円)

| 16/3月末 | 17/3月末 |
|--------|--------|
| 0.8    | 0.8    |



## EMEA地域のオペレーション

### ● 英国及びEU拠点

- 欧州三井住友銀行  
ロンドン本店、ダブリン、アムステルダム、パリ、プラハ、ミラノ、マドリードの6支店
- SMBCの支店  
ブラッセル、デュッセルドルフの2支店、フランクフルト出張所

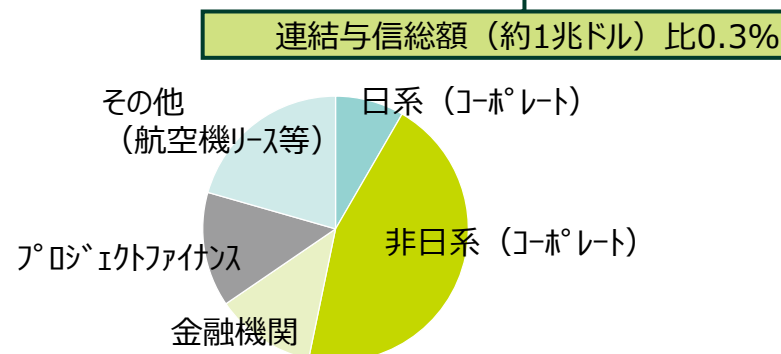
### ● 貸出の記帳

- EMEA地域の貸出残高6兆円、うち欧州三井住友銀行ロンドンのブックは約2割

## ロシア向けエクスポージャー\*6, 7

(10億米ドル)

| 16/3月末 | 17/3月末 |
|--------|--------|
| 4.3    | 3.2    |



\*1 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行（中国）の合算 \*2 債務者所在国ベース \*3 各期末残高は、17/3月末の期末為替仲値で割戻して表記 \*4 貸出先の内訳は中国拠点ベース  
\*5 債務履行の確実性が「十分にある」又は、確実性がより高い先 \*6 貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等 \*7 連結ベース

# 資本・リスクアセット（連結）

## 自己資本比率（規制基準）

|                                     | (億円) | 17/3月末         | 17/6月末         |
|-------------------------------------|------|----------------|----------------|
| <b>普通株式等Tier1資本</b>                 |      | <b>86,085</b>  | <b>88,726</b>  |
| うち普通株式に係る株主資本                       |      | 80,133         | 82,551         |
| うちその他の包括利益累計額 <sup>*1</sup>         |      | 12,900         | 13,076         |
| うち調整項目 <sup>*1</sup>                |      | ▲8,981         | ▲8,930         |
| <b>Tier1資本</b>                      |      | <b>99,462</b>  | <b>101,827</b> |
| うちその他Tier1資本調達手段                    |      | 4,499          | 4,500          |
| うち適格旧Tier1資本調達手段 <sup>*3</sup>      |      | 8,129          | 8,129          |
| うち調整項目 <sup>*1, 2</sup>             |      | ▲1,729         | ▲1,721         |
| <b>Tier2資本</b>                      |      | <b>20,275</b>  | <b>20,025</b>  |
| うちTier2資本調達手段                       |      | 8,989          | 9,042          |
| うち適格旧Tier2資本調達手段 <sup>*3</sup>      |      | 8,731          | 8,417          |
| うちその他有価証券及び土地の含み益の45% <sup>*2</sup> |      | 1,974          | 2,047          |
| うち調整項目 <sup>*1, 2</sup>             |      | ▲706           | ▲713           |
| <b>総自己資本</b>                        |      | <b>119,737</b> | <b>121,852</b> |
| <b>リスクアセット</b>                      |      | <b>706,835</b> | <b>707,210</b> |
| <b>普通株式等Tier1比率</b>                 |      | <b>12.17%</b>  | <b>12.54%</b>  |
| <b>Tier1比率</b>                      |      | <b>14.07%</b>  | <b>14.39%</b>  |
| <b>総自己資本比率</b>                      |      | <b>16.93%</b>  | <b>17.23%</b>  |

## 普通株式等Tier1比率（完全実施基準<sup>\*4</sup>（試算値））

|                                             | (億円) | 17/3月末        | 17/6月末        |
|---------------------------------------------|------|---------------|---------------|
| 規制基準との差異 <sup>*5</sup>                      |      | 702           | 752           |
| うちその他の包括利益累計額                               |      | 3,225         | 3,269         |
| うちその他有価証券評価差額金                              |      | 3,085         | 3,197         |
| うち非支配株主持分（経過措置対象分）                          |      | ▲278          | ▲285          |
| うち普通株式等Tier1資本に係る調整項目                       |      | ▲2,245        | ▲2,233        |
| <b>普通株式等Tier1資本（完全実施基準）</b>                 |      | <b>86,787</b> | <b>89,478</b> |
| リスクアセット（完全実施基準）                             |      | 706,447       | 706,820       |
| <b>普通株式等Tier1比率（完全実施基準）</b>                 |      | <b>12.2%</b>  | <b>12.6%</b>  |
| （参考）普通株式等Tier1比率（完全実施基準、<br>その他有価証券評価差額金除く） |      | <b>10.0%</b>  | <b>10.3%</b>  |

## 17年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

|                                         | 発行<br>時期 | 発行残高         | 配当率 <sup>*6</sup> | 任意<br>償還 <sup>*7</sup> | ステップ<br>アップ |
|-----------------------------------------|----------|--------------|-------------------|------------------------|-------------|
| SMFG Preferred<br>Capital JPY 1 Limited | 08/2     | JPY 135.0 bn | 3.52%             | 18/1以降                 | なし          |

## レバレッジ比率（規制基準（速報値））

|                | (億円) | 17/6月末       |
|----------------|------|--------------|
| Tier1資本        |      | 101,827      |
| レバレッジエクスポージャー  |      | 2,143,335    |
| <b>レバレッジ比率</b> |      | <b>4.75%</b> |

## LCR（規制基準）

| 17/4~6月平均     |
|---------------|
| <b>125.3%</b> |

<sup>\*1</sup>~<sup>\*3</sup> 経過措置の対象項目(Tier1及びTier2の調整項目は<sup>\*1</sup>と<sup>\*2</sup>の両方の項目を含む) <sup>\*1</sup> 総額の80%が資本算入 <sup>\*2</sup> 総額の80%分の算入除外反映後の金額  
<sup>\*3</sup> 算入上限50% <sup>\*4</sup> 19/3月末に適用される定義に基づく <sup>\*5</sup> 経過措置により総額の80%相当が規制基準で調整されているため、本欄には総額の20%相当額を記載  
<sup>\*6</sup> 任意償還日以降の配当率は変動配当率 <sup>\*7</sup> 予め金融庁長官の確認を受けた上で、各配当支払日に任意償還可能

## TLAC規制のポイント

### 外部TLACの最低所要比率（SMFGの場合）

|                                 | 2019年～<br>2021年 | 2022年<br>以降  |
|---------------------------------|-----------------|--------------|
| リスクアセットベース                      | 16%             | 18%          |
| （含む各種資本バッファ <sup>*1</sup> ）     | （19.5%）         | （21.5%）      |
| <b>預金保険制度に基づく<br/>事前積立分の勘案後</b> | <b>17.0%</b>    | <b>18.0%</b> |
| レバレッジエクスポージャーベース                | 6%              | 6.75%        |

- 現状、リスクアセットベースの所要水準が  
レバレッジエクスポージャーベースの所要水準より多くなると試算

### 預金保険制度に基づく事前積立分の寄与

- 金融庁は、日本のG-SIBに対して、  
2019年3月以降はリスクアセットの2.5%、  
2022年3月以降はリスクアセットの3.5%相当の金額を  
外部TLACとして算入することを認める方針

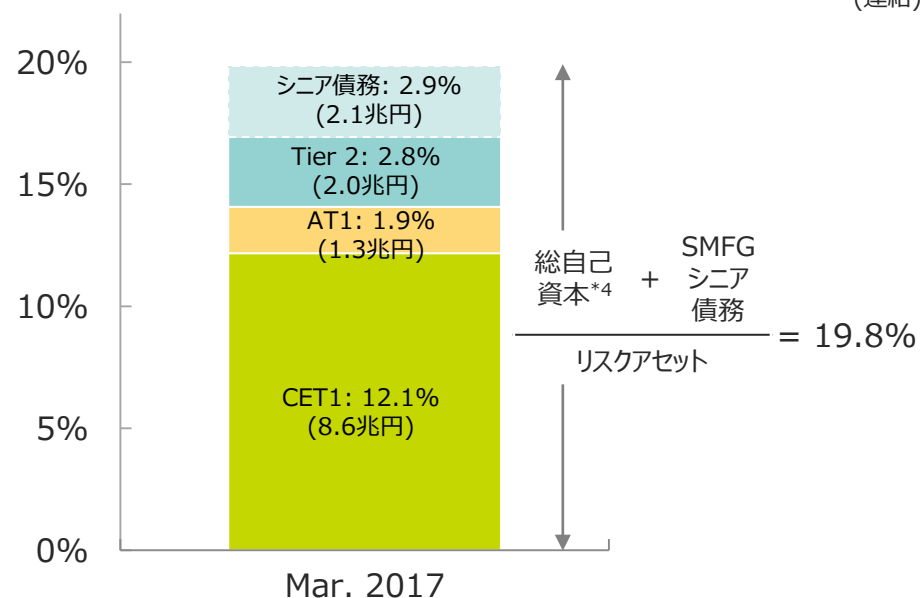
## TLAC規制への対応

### SMFGによる無担保シニア債務調達状況<sup>\*2</sup>

|       | （兆円） | 15年度 | 16年度 |
|-------|------|------|------|
| 期中調達額 |      | 0.5  | 1.6  |
| 期末残高  |      | 0.5  | 2.1  |

### 総自己資本 + SMFGシニア債務の対リスクアセット比率<sup>\*3</sup>

（連結）



<sup>\*1</sup> カウンターシクリカルバッファを除く。G-SIBバッファにつき、SMFGは2016年11月にFSBより公表されたリストにおいてバケット1（1.0%）に割当てられている。各種資本バッファは2019年より完全施行される予定 <sup>\*2</sup> 各期末実績レートにて換算 <sup>\*3</sup> TLAC比率とは一致しない <sup>\*4</sup> 規制基準。国内におけるTLAC規制が最終化された際に、TLAC比率の計算と自己資本比率の計算には違いがあり、総自己資本には算入される項目が外部TLACに算入されなかったり、その逆が生じたりする見込み

## SRIインデックスへの組み入れ

GPIFが選定したESG指数（総合型）に組み入れ  
（17/7月）



FTSE Blossom  
Japan

MSCI



2017 Constituent  
MSCI Japan ESG  
Select Leaders Index



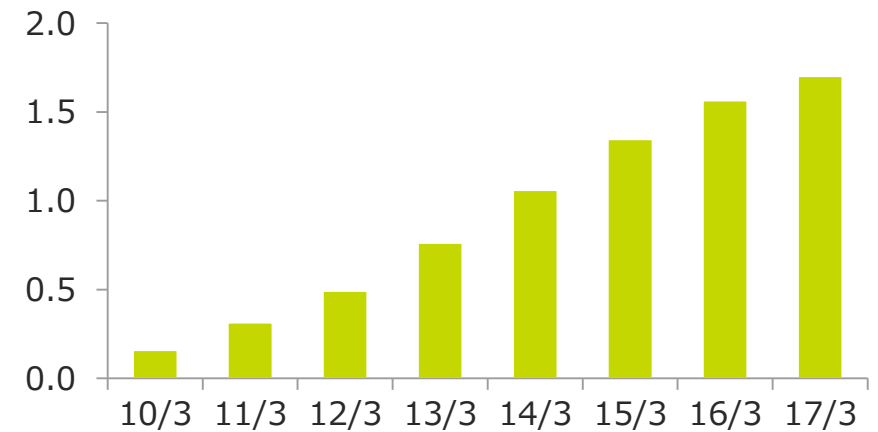
FTSE4Good



Member of SNAM  
Sustainability Index  
2017

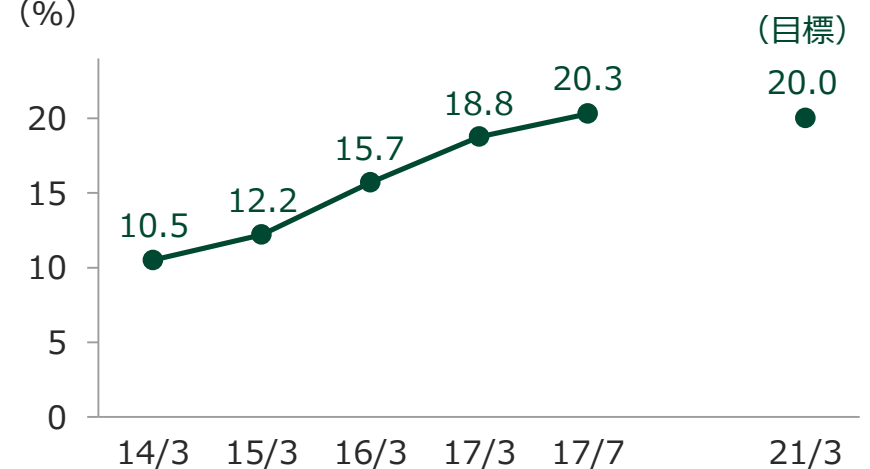
## SMBC評価型融資（取組累計額）

(兆円)



## 女性管理職比率（SMBC）

(%)



# G-SIBsの格付推移（コア銀行、Moody's）\*

|      | 2001年4月                                                                                                                                                                                                                                                     | 2007年7月                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2017年7月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Aaa  |                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>Bank of America</li> <li>Bank of New York Mellon</li> <li>Citibank</li> <li>JPMorgan Chase Bank</li> <li>Royal Bank of Scotland</li> <li>UBS</li> <li>Wells Fargo Bank</li> </ul>                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Aa1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Bank of America</li> <li>Crédit Agricole</li> <li>Wells Fargo Bank</li> <li>UBS</li> </ul>                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>Banco Santander</li> <li>Barclays Bank</li> <li>BNP Paribas</li> <li>Crédit Agricole</li> <li>Credit Suisse</li> <li>Deutsche Bank</li> <li>HSBC Bank</li> <li>ING Bank</li> <li>Nordea Bank</li> <li>Société Générale</li> <li>State Street Bank &amp; Trust</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Aa2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Bank of New York Mellon</li> <li>Barclays Bank</li> <li>Citibank</li> <li>HSBC Bank</li> <li>ING Bank</li> <li>JPMorgan Chase Bank</li> <li>Royal Bank of Scotland</li> <li>State Street Bank &amp; Trust</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>SMBC</b></li> <li>BPCE(Banque Populaire)</li> <li><b>BTMU</b></li> <li><b>Mizuho Bank</b></li> <li>UniCredit</li> </ul>                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>Bank of New York Mellon</li> <li>HSBC Bank</li> <li>Wells Fargo Bank</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Aa3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Banco Santander</li> <li>BNP Paribas</li> <li>BPCE(Banque Populaire)</li> <li>Deutsche Bank</li> <li>Société Générale</li> <li>UniCredit</li> <li>Goldman Sachs Bank</li> <li>Morgan Stanley Bank</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>JPMorgan Chase Bank</li> <li>Nordea Bank</li> <li>State Street Bank &amp; Trust</li> </ul>                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| A1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Credit Suisse</li> </ul>                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>Agricultural Bank of China</li> <li>Bank of China</li> <li>ICBC</li> </ul>                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>SMBC</b></li> <li>Bank of America</li> <li>Bank of China</li> <li>Barclays Bank</li> <li>BNP Paribas</li> <li><b>BTMU</b></li> <li>China Construction Bank</li> <li>Citibank</li> <li>Crédit Agricole</li> <li>Credit Suisse</li> <li>Goldman Sachs Bank</li> <li>ICBC</li> <li>ING Bank</li> <li><b>Mizuho Bank</b></li> <li>Morgan Stanley Bank</li> <li>Standard Chartered</li> <li>UBS</li> </ul> |
| A2   | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>BTMU</b></li> <li>Standard Chartered</li> </ul>                                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>China Construction Bank</li> <li>Standard Chartered</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>Agricultural Bank of China</li> <li>BPCE(Banque Populaire)</li> <li>Royal Bank of Scotland</li> <li>Société Générale</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| A3   | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>SMBC</b></li> <li><b>Mizuho Bank</b></li> </ul>                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>Banco Santander</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Baa1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>Agricultural Bank of China</li> <li>Bank of China</li> <li>China Construction Bank</li> <li>ICBC</li> </ul>                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>UniCredit</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Baa2 |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>Deutsche Bank</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

\* コア銀行の長期発行体格付(存在しない場合は長期預金格付)



## G-SIBsの格付（持株会社、Moody's / S&P）\*

|      | 2017年7月                                                                                                             |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 |      |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|      | Moody's                                                                                                             |                                                                           | S&P                                                                                                     |                                                                                                                 |      |
| Aaa  |                                                                                                                     |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 | AAA  |
| Aa1  |                                                                                                                     |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 | AA+  |
| Aa2  |                                                                                                                     |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 | AA   |
| Aa3  |                                                                                                                     |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 | AA-  |
| A1   | <div>SMFG</div> <ul style="list-style-type: none"><li>Bank of New York Mellon</li><li>HSBC</li><li>Mizuho</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>MUFG</li><li>State Street</li></ul> |                                                                                                         |                                                                                                                 | A+   |
| A2   | <ul style="list-style-type: none"><li>Standard Chartered</li><li>Wells Fargo</li></ul>                              |                                                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>Bank of New York Mellon</li><li>HSBC</li><li>MUFG</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>State Street</li><li>Wells Fargo</li></ul>                                | A    |
| A3   | <ul style="list-style-type: none"><li>Goldman Sachs</li><li>JPMorgan</li></ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"><li>Morgan Stanley</li></ul>            | <div>SMFG</div> <ul style="list-style-type: none"><li>ING</li><li>JPMorgan</li></ul>                    | <ul style="list-style-type: none"><li>Mizuho</li><li>UBS</li></ul>                                              | A-   |
| Baa1 | <ul style="list-style-type: none"><li>Bank of America</li><li>Citigroup</li></ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>ING</li><li>UBS</li></ul>           | <ul style="list-style-type: none"><li>Bank of America</li><li>Citigroup</li><li>Credit Suisse</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>Goldman Sachs</li><li>Morgan Stanley</li><li>Standard Chartered</li></ul> | BBB+ |
| Baa2 | <ul style="list-style-type: none"><li>Barclays</li></ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>Credit Suisse</li></ul>             | <ul style="list-style-type: none"><li>Barclays</li></ul>                                                |                                                                                                                 | BBB  |
| Baa3 | <ul style="list-style-type: none"><li>RBS</li></ul>                                                                 |                                                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>RBS</li></ul>                                                     |                                                                                                                 | BBB- |
| Ba1  |                                                                                                                     |                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                 | BB+  |

\* 持株会社の長期発行体格付(存在しない場合は長期無担保シニア債務格付)

# 国際的な金融規制への対応

|                              |               | 主要規制                   | 規制の概要                                               | 導入時期           | 現状                                 | SMFGへの影響・対応                                                                   |
|------------------------------|---------------|------------------------|-----------------------------------------------------|----------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| G-SIFIs<br>に対する<br>規制・<br>監督 |               | G-SIBsへの<br>追加的資本賦課    | バーゼルⅢ規制に上乗せた資本賦課（いわゆるG-SIBバッファ）                     | 2016年          | 段階導入中                              | ◎ SMFGへの上乗せ幅は+1.0%、完全実施基準のCET1比率要件*は8%。2019年度CET1比率目標10%程度<br>*カウンターシカルバッファ除く |
|                              |               | 損失吸収力(TLAC)の<br>最低水準導入 | 破綻時の損失吸収力として、規制自己資本と特定の負債を一定水準保持することを義務付け           | 2019年          | 2015年11月<br>最終規則公表                 | ○ 継続対応中                                                                       |
|                              |               | 再建・破綻処理計画              | グループベースのリカバリープラン策定                                  | 導入済            | 対応済                                | ○ 年次アップデート要                                                                   |
| 健全性<br>規制                    | バー<br>ゼル<br>Ⅲ | 自己資本規制                 | 最低所要自己資本比率の引上げ、資本の質の向上                              | 2013年          | 段階導入中                              | ◎ 2019年度CET1比率目標10%程度                                                         |
|                              |               |                        | トレーディング勘定の抜本的な見直し                                   | 2019年          | 2016年1月<br>最終規則公表                  | ○ 国内施行について継続注視                                                                |
|                              |               |                        | 標準的手法の見直し                                           | 未定             | 2015年12月(信用)、<br>2016年3月(株)、市中協議文書 | △ 最終規則未確定。継続注視                                                                |
|                              |               |                        | 内部モデルの見直し                                           | 未定             | 2016年3月 市中協議文書                     | △ 最終規則未確定。継続注視                                                                |
|                              |               |                        | 資本フロア                                               | 未定             | 2014年12月 市中協議文書                    | △ 最終規則未確定。継続注視                                                                |
|                              |               |                        | CVAリスク                                              | 未定             | 2015年7月 市中協議文書                     | △ 最終規則未確定。継続注視                                                                |
|                              |               |                        | 銀行勘定の金利リスク                                          | 2018年          | 2016年4月<br>最終規則公表                  | ○ 国内施行について継続注視                                                                |
|                              |               | レバレッジ規制                | ノンリスクベースのレバレッジ比率規制<br>レバレッジ比率 $\geq 3\%$ （試行期間中の水準） | 2018年          | 2016年4月<br>市中協議文書                  | ○ G-SIB向け追加的要件等について継続注視                                                       |
|                              |               | 流動性規制                  | LCR：ストレス時の預金流出や短期調達等の困難化等への対応力を強化 LCR $\geq 100\%$  | 2015年          | 段階導入中                              | ◎                                                                             |
|                              |               |                        | NSFR：長期の運用資産に対応する長期・安定的な調達源の確保 NSFR $\geq 100\%$    | 2018年          | 2014年10月<br>最終規則公表                 | ○ 国内施行について継続注視                                                                |
| 金融市場/<br>金融制度<br>改革          |               | 大口信用供与規制               | 一社与信上限の厳格化（Tier1の25%）や対象与信範囲の拡大等                    | 2019年          | 2014年12月一部導入済                      | ○ 国内施行について継続注視                                                                |
|                              |               | デリバティブ規制               | 清算機関への取引集中義務<br>非集中取引のマージン規制                        | 2012年<br>2016年 | 国内導入済み、対象拡大中<br>段階導入中              | △ 継続対応中                                                                       |
|                              |               | シャドーバンキング<br>規制        | 銀行のシャドーバンキングへの関与やMMF・証券化商品等への規制強化                   | -              | 一部最終規則公表                           | ○ 最終規則化・各国施行について継続注視                                                          |
|                              |               | リングフェンス規制              | 外国銀行への資本・流動性規制（米国FBO規制）                             | 2016年          | 対応済                                | ◎                                                                             |
|                              |               |                        | 外国銀行への資本・流動性規制（欧州IPU規制）                             | 未定             | 2016年11月<br>欧州委員会改正案公表             | △ 審議の状況について継続注視                                                               |

◎ 規制水準十分達成可能 ○ 規制水準達成可能 △ 影響不透明

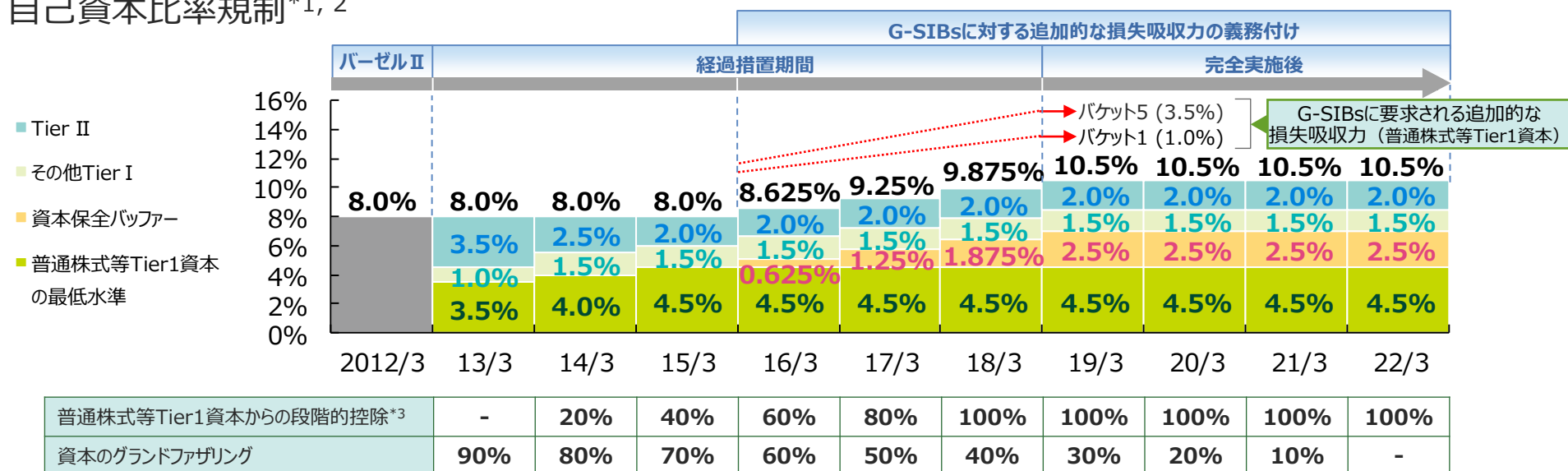
# 国際金融規制を巡る足許の主な議論

| 規制        |                 |                    | 規制の概要                                                                                                                                                                                                         | 規制<br>最終化 | 国内<br>法制化 |
|-----------|-----------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|
| 自己資本規制    | 信用リスク           | 標準的手法<br>見直し       | ・ 外部格付依存低下、リスク感応度向上、各国裁量抑制、標準的手法と内部格付手法の整合性強化、銀行間の資本要件の比較可能性向上等を目的とする、標準的手法の見直し                                                                                                                               | 未済        | 未済        |
|           |                 | CVAリスク             | ・ デリバティブ取引におけるカウンターパーティーの信用力の変動リスク（CVAリスク）の計測手法、パラメータの水準等の見直し                                                                                                                                                 | 未済        | 未済        |
|           | 市場リスク           | 銀行勘定の金利<br>リスク     | ・ 現行の枠組み（「第2の柱」）に関し、①銀行のリスク管理プロセスに関する詳細なガイダンス、②開示基準の強化、③リスク計測に係る標準的手法の改訂、④アウトライヤー行の特定のための閾値設定の強化、等を規定                                                                                                         | 済         | 未済        |
|           | オペレーショナル<br>リスク | 標準的手法<br>見直し       | ・ ①事業規模に基づくビジネス指標、及び、②銀行のオペレーショナル損失実績を活用した計測手法を検討<br>・ 先進的手法は廃止予定                                                                                                                                             | 未済        | 未済        |
|           | 全般              | 内部モデルの見直し          | ・ ①金融機関及び大企業向け与信、株式エクスポージャーに対する標準的手法適用、②中堅企業向け与信に対する基礎的內部格付手法適用、③プロジェクトファイナンスに対する標準的手法またはスロットティングクライテリア方式の適用、④PD/LGDの最低フロア導入・引上げや推計手法の見直しを検討                                                                  | 未済        | 未済        |
|           |                 | 標準的手法に基づく<br>資本フロア | ・ バーゼルⅠベースの暫定的な資本フロアから、バーゼルⅡ/Ⅲの標準的手法（信用、市場、オペリスク）ベースの恒久的なフロアへの移行<br>・ 枠組や水準は現在検討中                                                                                                                             | 未済        | 未済        |
| レバレッジ比率規制 |                 | レバレッジ比率            | ・ 2018年から最低水準3%で適用予定<br>・ G-SIBs向け最低水準の上乗せ要件やエクスポージャーの算出方法の見直しを検討                                                                                                                                             | 一部済       | 一部済       |
| G-SIFIs規制 |                 | TLAC               | ・ 最低所要水準は、<br>①2019年からリスクアセット比16%かつバーゼルⅢレバレッジ比率の分母比6%以上<br>②2022年以降はリスクアセット比18%かつバーゼルⅢレバレッジ比率の分母比6.75%以上<br>・ 預金保険制度の下での事前積立ファンドに限り、当局裁量により①2019年からリスクアセット比2.5%、②2022年以降同3.5%相当に換算可<br>・ 破綻処理エンティティでの発行・保持が必要 | 済         | 未済        |

# バーゼルⅢの導入スケジュール

- 自己資本比率規制、流動性カバレッジ比率規制は、国際合意に沿って段階適用開始
- レバレッジ比率規制、安定調達比率規制は、国内施行に向けた検討が進められている状況

## 自己資本比率規制\*1, 2



## レバレッジ比率規制及び流動性規制\*1

|                 |                   |                 |             |             |               |              |  |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------|-------------|---------------|--------------|--|
| レバレッジ比率         | 2015/3<br>告示公布    | 2015 : 開示開始（3%） |             |             | 2018 : 適用開始予定 |              |  |
| 流動性カバレッジ比率（LCR） | 2014/10<br>告示公布   | 2015<br>60%     | 2016<br>70% | 2017<br>80% | 2018<br>90%   | 2019<br>100% |  |
| 安定調達比率（NSFR）    | 2014/10<br>国際合意文書 | 2018 : 適用開始予定   |             |             |               |              |  |

\*1 バーゼル委公表の直近の規則文書、本邦告示に基づくスケジュール

\*2 カウンターシクリカルバッファ（CCyB）は省略。発動される場合には、資本保全バッファと同様のスケジュールで導入

\*3 繰延税金資産、モーゲージ・サービシング・ライツ及び金融機関に対する出資を含む

## 公的サポートの枠組み及び実質破綻事由

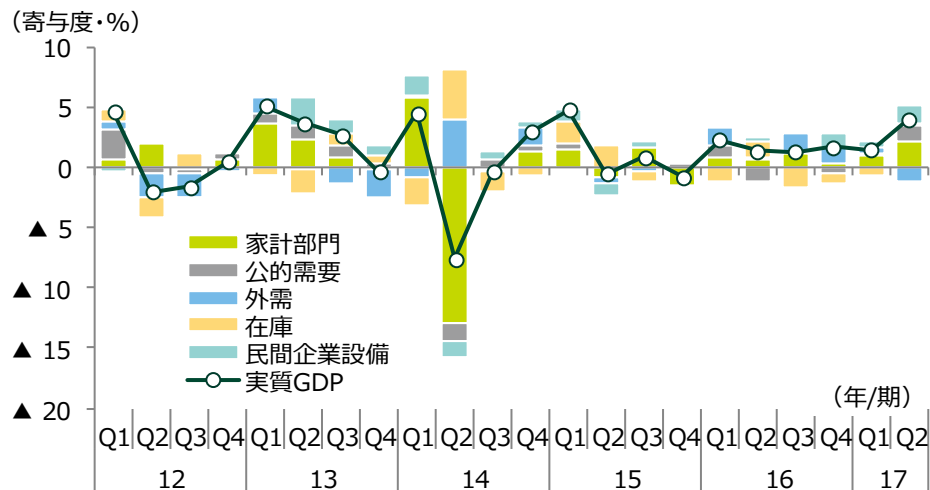
|                 | 枠組み                      | システミック<br>リスク                         | 対象<br>金融機関                     | 要件                               | 実質<br>破綻         |
|-----------------|--------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|------------------|
| 既存の枠組み          | 金融機能強化法<br>資本増強          | 無                                     | 銀行                             | 破綻* <sup>1</sup> でも 債務超過<br>でもない | 該当せず             |
|                 | 預金保険法<br>第102条           | 有<br>(我が国又は<br>地域の<br>信用秩序)           | 資本増強は<br>銀行持株<br>会社経由も<br>可能   | 過小資本                             | 該当せず             |
|                 |                          |                                       | 銀行のみ                           | 破綻 または 債務超過                      | 該当* <sup>3</sup> |
|                 |                          |                                       |                                | 破綻 かつ 債務超過                       |                  |
|                 | 特定第一号措置<br>流動性供給<br>資本増強 | 有<br>(我が国の<br>金融市場<br>その他の金融<br>システム) | 銀行および<br>銀行持株<br>会社を含む<br>金融機関 | 債務超過 でない                         | 該当せず             |
| 新しく導入<br>された枠組み | 特定第二号措置<br>資金援助          |                                       |                                | 支払停止 または<br>債務超過* <sup>2</sup>   | 該当* <sup>3</sup> |

\*1 破綻：預金の払戻しを停止した、または、その恐れ    \*2 支払停止または債務超過の恐れを含む

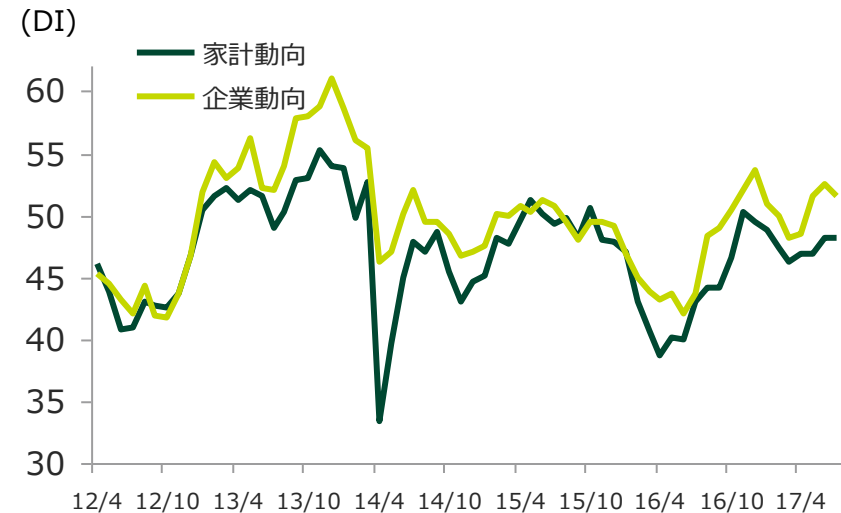
\*3 金融庁「自己資本比率規制に関するQ&A」(2014年3月6日修正)に基づく

# 国内経済動向

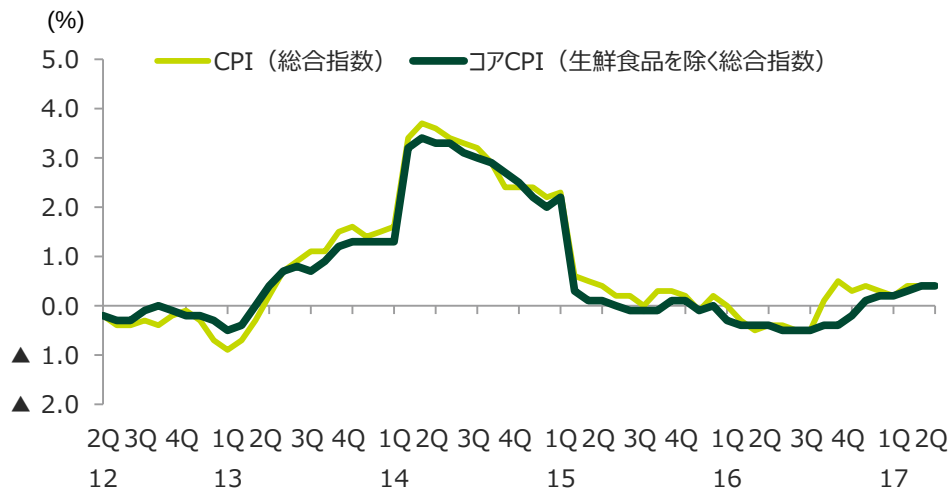
## 実質GDP成長率（前期比年率）\*1



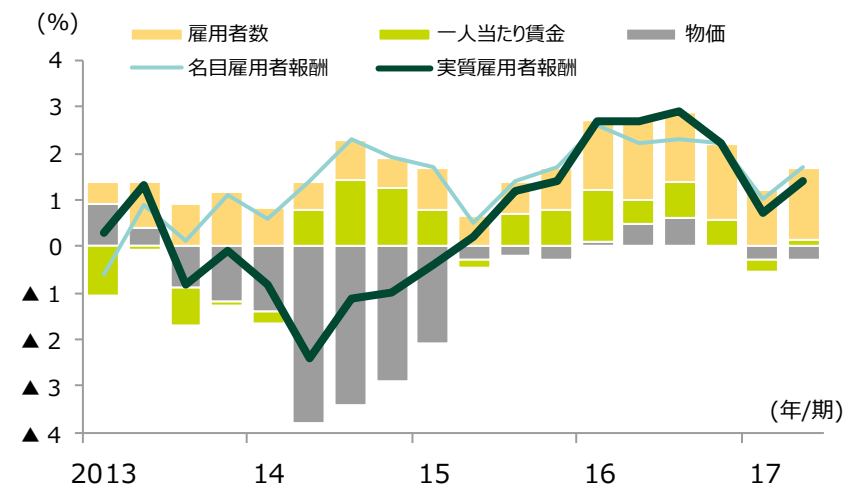
## 景気ウォッチャー調査\*2



## 消費者物価指数（前年比）\*3



## 実質雇用者報酬（前年比）\*4



\*1 出所：内閣府。季節調整系列。家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅、在庫＝民間在庫品増加＋公的在庫品増加、公的需要＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成

\*2 出所：内閣府。景気の現状判断DI \*3 出所：総務省統計局。コアCPI：生鮮食品を除く総合指数

\*4 出所：内閣府、総務省

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

## ■ 本資料における計数、表記の定義

- 連結：三井住友フィナンシャルグループ連結
- 単体：三井住友銀行単体
- 親会社株主純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
- SMFG：三井住友フィナンシャルグループ
- SMBC：三井住友銀行
- SMBC信託：SMBC信託銀行
- SMFL：三井住友ファイナンス&リース
- SMBC日興：SMBC日興証券
- SMBCフレンド：SMBCフレンド証券
- SMCC：三井住友カード
- SMBCCF：SMBCコンシューマーファイナンス
- SMAM：三井住友アセットマネジメント

## ■ 事業部門の主な概要

- リテール事業部門：国内の個人および中小企業向けビジネス  
SMBC(RT)、SMBC日興(RT)、SMBCフレンド、  
SMBC信託(RT)、SMCC、セディナ、SMBCCF他
- ホールセール事業部門：国内の大企業・中堅企業向けビジネス  
SMBC(WS)、SMBC日興(WS)、SMBC信託(WS)、  
SMFL(国内)他
- 国際事業部門：海外ビジネス  
SMBC(国際)、SMBC日興(国際)、SMBC信託(国際)、  
SMFL(海外)他
- 市場事業部門：市場関連ビジネス  
SMBC(市場)、SMBC日興(商品)他